



10km

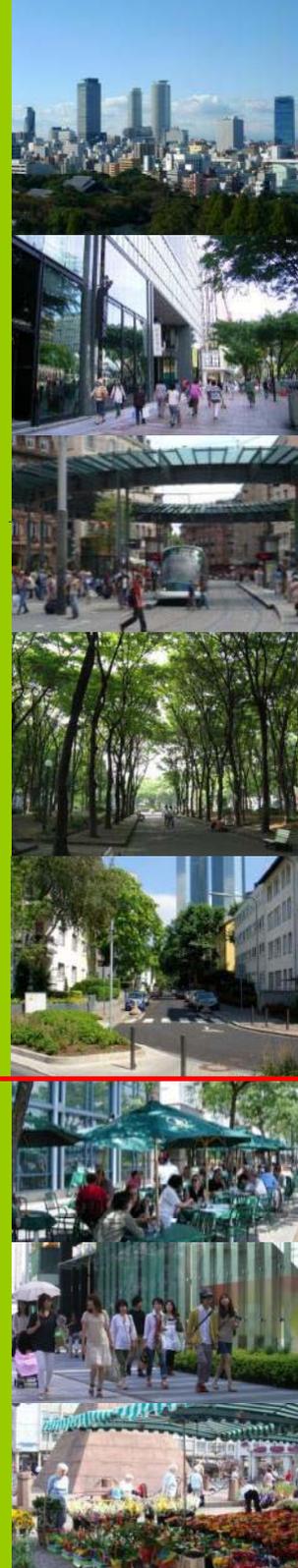
TOKYO

NAGOYA

OSAKA

# 名古屋 都心ビジョン2030

2011年4月  
名古屋都市センター 都心ビジョン研究会





## 趣旨

2027年、リニア新幹線が東京～名古屋間で開通することが公表され、東京～名古屋間は40分ほどで連絡されるという。このリニア新幹線開通は、名古屋の都市づくり、とりわけ名古屋駅周辺(名駅地区)に大きなインパクトをもたらすことが予想され、様々な分野で強い関心もたれている。

こうした情勢は、数年前からの百貨店の売上動向から類推できるように、栄の求心力低下に一層の拍車をかけている。

他方、芸術文化や創造的産業を振興し、都市の活性化及び国際的な競争力を強化を図るクリエイティブ・シティ政策の推進は、ものづくりが地域の基幹産業となっている名古屋にとって必須の方向であろう。

また、地元発意によるまちづくり活動は、地域風土や歴史文化に根ざした、個性あるまちを実現する上で不可欠なもので、今後の発展が大いに期待されている。

「名古屋 都心ビジョン2030」は、こうした都心の主要課題に着目し、バックキャスト的発想から、おおむね2030年をターゲットに名古屋都心の将来ビジョンを描き、提案するものである。

名古屋都市センターでは、本ビジョンに盛り込んだ意図を都心まちづくりの具体的な動きに結びつけるため、今後も継続して調査研究活動に取り組んでいく。近未来の名古屋の都市づくりを考える上で、本ビジョンが大いなる議論の起爆剤となれば、まことに幸いである。

2011年4月

名古屋都市センター 都心ビジョン研究会

# 目次

## プロローグ

「2030年7月 僕は今日、初めて名古屋に来た」

## 都心ビジョン

### 都心に求められる方向性

都心ステータスの強化

エリアマネジメントの活躍

都心全体で勝負する

## 都心ビジョンを進める8つの方針

01 都心回遊性を高める

路面公共交通を強化する

お一人様モビリティ支援

歩行者空間の拡大

02 良好なコミュニティ形成

03 街の社交空間の生成

04 良好な都市風景の形成

05 創造コアの支援

06 グリーングリッドの形成

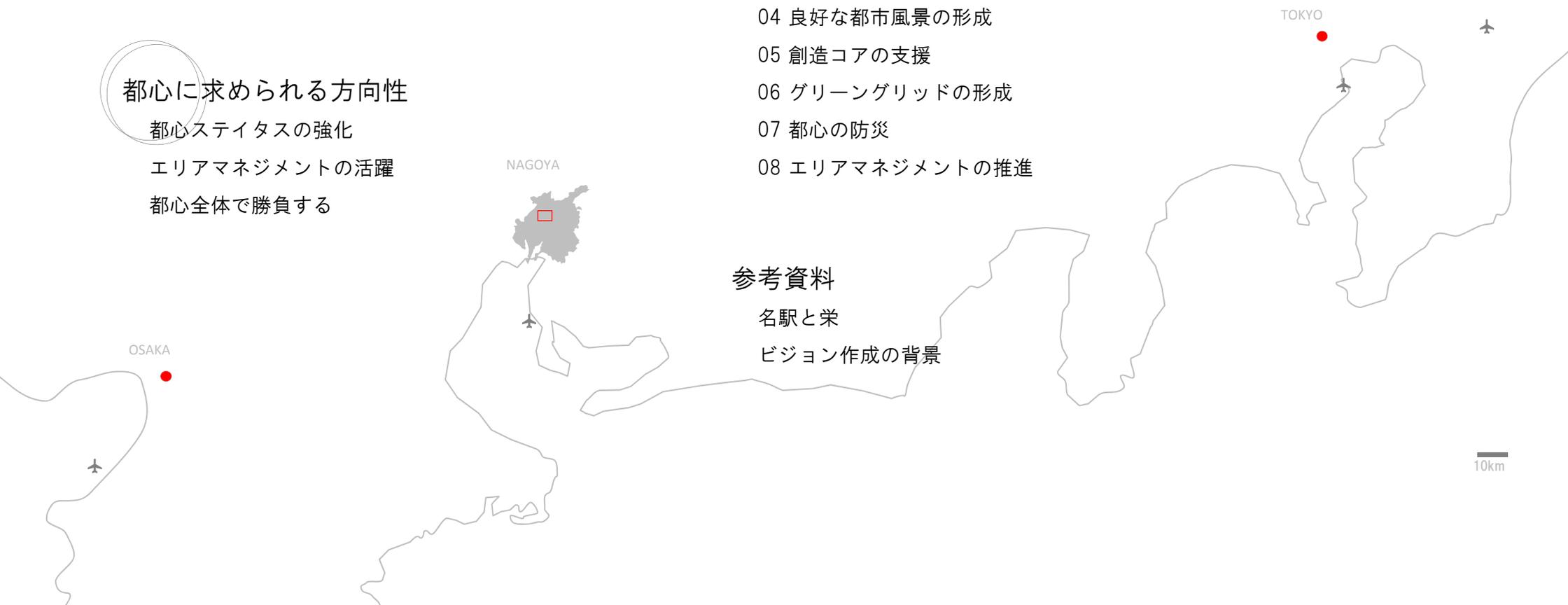
07 都心の防災

08 エリアマネジメントの推進

### 参考資料

名駅と栄

ビジョン作成の背景



名古屋 都心ビジョン2030の対象とするおおよその範囲 -----



# プロローグ

## 「2030年7月 今日、僕は初めて名古屋に来た」



2030年7月1日 晴れ

AM9:30

2030年7月1日、僕は初めて名古屋に来た。目的は、明日から始まる世界クリエイティブシティ会議・デザイン分科会に出席するとともに、再来年くらい名古屋に新たなアトリエを開設しようと考えているからだ。劇的に変貌を遂げたといわれる名古屋の状況を、リニア新幹線が開通して3年、遅ればせながら街をゆっくり見てみようと、会議前日の朝から来てみた。今日の夕方6時に、大学の友人TZと栄で会うことになっている。それまで、どうしようか考えるため、とりあえず、駅前の少し洒落たオープンカフェに座った。

AM9:45

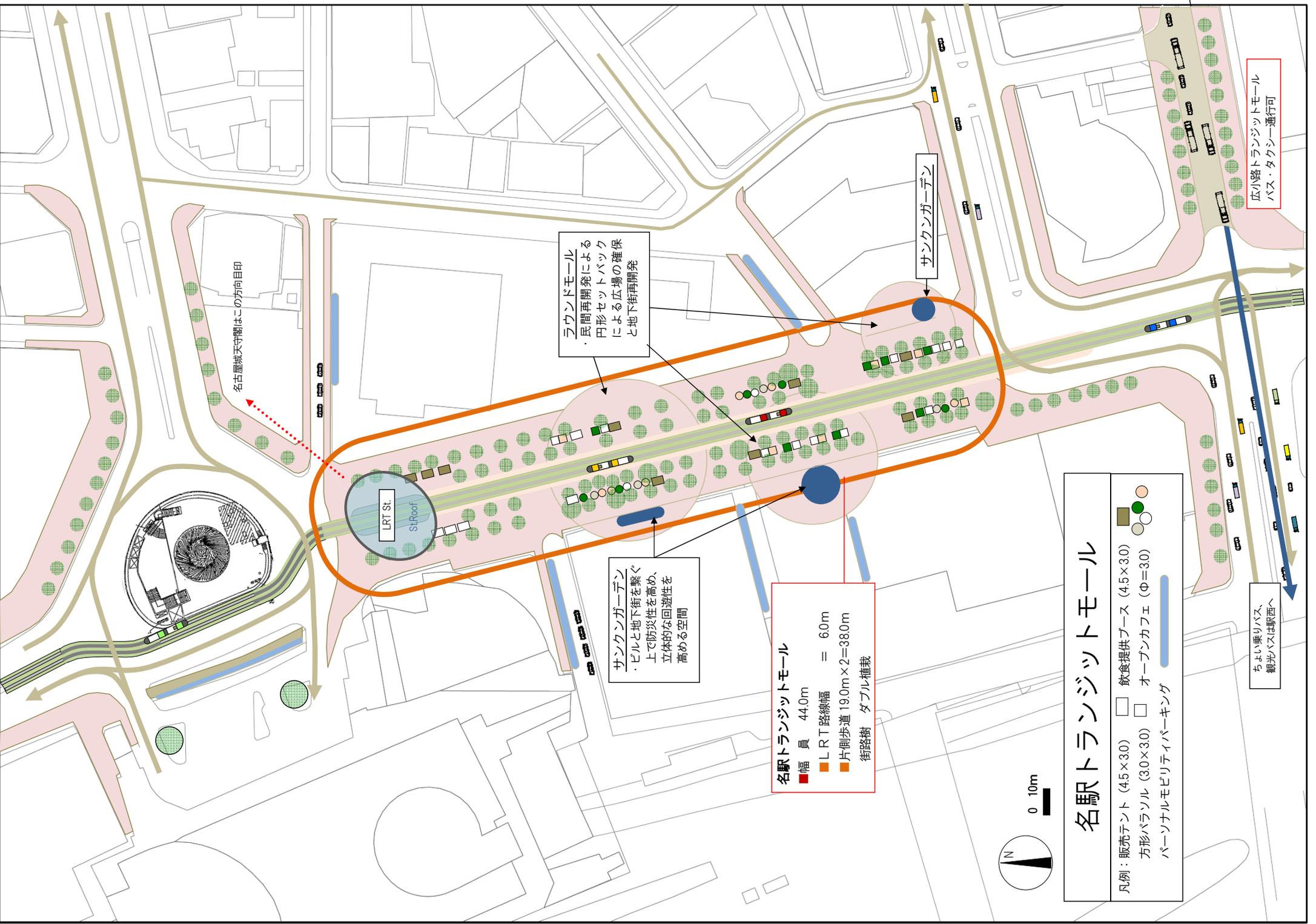
盛夏の日差しに緑陰が気持ちよい。コーヒーを注文し、風景をながめる。

超高層ビルに囲まれたトランジットモールには、LRTがよく映える。駅舎、サイン、車両などのトータルデザインが各種メディアで紹介されているが、実物をこの目で見ると、うまくデザインされていることがよくわかる。運行頻度も高い。

せわしなく行きかうビジネスパーソンも国際色豊かだ。質の高いものづくりなら名古屋と、世界中からビジネスチャンスをかかしに、人が集まり、その賑わいがまた人を呼ぶ。典型的なグッドサイクルだ。

超高層ビルは、高さ200mを超しているだろうが、圧迫感はない。ビルの表情も、それぞれ個性豊かだが、調和が保たれている。これだけ広い空間なのに疎外感もなく、居心地がよい。大都市でありながら、時間がゆっくり流れる懐の深さを感じる。





名古屋城天守閣はこの方向目印

ラウンドモール  
・民間再開発による  
円形セットバック  
による広場の確保  
と地下街再開発

サンクンガーデン  
・ビルと地下街を繋ぐ  
上で防災性を高め、  
立体的な回遊性を  
高める空間

サンクンガーデン

**名駅トランジットモール**  
 ■ 幅員 44.0m  
 ■ LRT路線幅 = 60m  
 ■ 片側歩道 19.0m x 2 = 38.0m  
 街路樹 ダブル植栽

**名駅トランジットモール**

凡例：販売テント (4.5×3.0) □ 飲食提供ブース (4.5×3.0)  
 方形パラソル (3.0×3.0) □ オープンカフェ (Φ=3.0)  
 パーソナルモビリティパーキング



ちよい乗りバス、  
観光バスは駅西へ

広小路トランジットモール  
バス・タクシー通行可



AM10:30

まずはモノづくり文化の拠点である、トヨタ、リタケを見て、名古屋城に向かおう。駅前のLRTステーションから、D2030車両を選んで乗り込んだ。毎年、地元まちづくり協議会の主催でラッピングデザインコンペティションが開催されており、今年は確か、ブラジルの学生たちがデザインした車両だ。名古屋にアトリエを構えたら、僕のところにも審査依頼がくるかもしれない。歩道、ステーション、LRT車両まで段差なく、キャリーバックの移動も快適だ。車内には、車椅子利用者もいて、楽しそうに外を眺めている。ユニバーサルデザインが随所に行き届いているもの、名古屋が快適だ、と評価される要因の1つだろう。案内サインの多言語表記もフレンドリーだ。

LRTがゆっくりと走り出す。隣の席では、アジア系の女の子たちがおしゃべりをしている。上海語だ、観光客だろうか？時々“SHIKEMICHI”という単語が聞こえる。そういえば、インターネットに、名古屋の旬スポットの紹介サイトがあって“四間道”という地名があったのを思い出した。

四間道は、名駅から歩いて7~8分くらいのところにあって、江戸時代、堀川の水運を利用して発展した商家と土蔵が建ち並んでいたという。今も情緒ある町並みが残り、パリの路地にあるような、うまいフレンチレストランもあるらしい。

堀川は水質が浄化され、川沿いをブラブラ歩き(BBK)するのに、気持ちのいいところだという。行先変更だ。次の円頓寺商店街駅でおいて、四間道、堀川沿いをBBKしよう。気に入った店でランチをとって、舟運で名古屋城に行くのもいいかもしれない。







AM13:00

緑青の屋根に金のシャチホコが見える。古いTV番組のアーカイブで、名古屋城再建のドキュメンタリーがあったが、知恵と技術と誇り、どんなドラマより見ごたえがあった。こうした、ものづくりのDNAこそ、名古屋のシビックプライドの一端を担っているに違いない。今は青々としたお堀沿いの並木は、春には満開の桜並木となって、石垣に枝垂れかかるのだろう。名古屋のシンボルとなる歴史舞台だ。

名古屋城正門前では、物産市と工芸館が立ち並んでいる。からくり人形、陶磁器、バイオリンのミニチュアなど、伝統的な名古屋の技術を題材にしたものから、デザイン性の高い遊び心にあふれたものまで、旅の土産として選びがいがあがる。店の人によれば、20年ほど前から名古屋の物語を題材に“メ〜ブツ”と称した商品化が、地元デザイナーを中心に実施されているとのこと。説明書きを読むと、シャチホコ盗難をモチーフにしたものもあれば、クスッ！と笑える逸話を題材にしたものもある。

LRTで1駅、公館通前駅で降りると、最近評判の「市の市の市」が開催されている。官庁街につくられた青空市場で、多くの人で賑わっている。地産地消市は、周囲100kmほどの生鮮食料品を扱っているといい、近郊農家や漁業組合が競ってこの市に出店するのだという。花の市では、気軽に買える小さなブーケから、どうやって運ぶんだらうと疑いたくなるような鉢植えまでそろっている。反対側に足をのぼすと、蚤の市だ。骨董品もあれば、若い作家の出店もある。古書を扱う店では、1960年代のデザイン雑誌のバックナンバーが積んであり、1冊100円だ。つい、買い占めそうになったが、そういえば、自分はまだ、旅行者だったことを思い出した。







PM16:00

パーソナルモビリティをレンタルし、100m道路を南下する。この100m道路は、シェアスペースになっていて、歩行者も自転車も、お互いへの気遣いが自然に生まれる空間だ。路面のデザインも申し分ないし、走りやすい。道路のデザインも綿密に調整が行われているのだろう。もしかするとmm単位まで考慮した断面設計かもしれない。

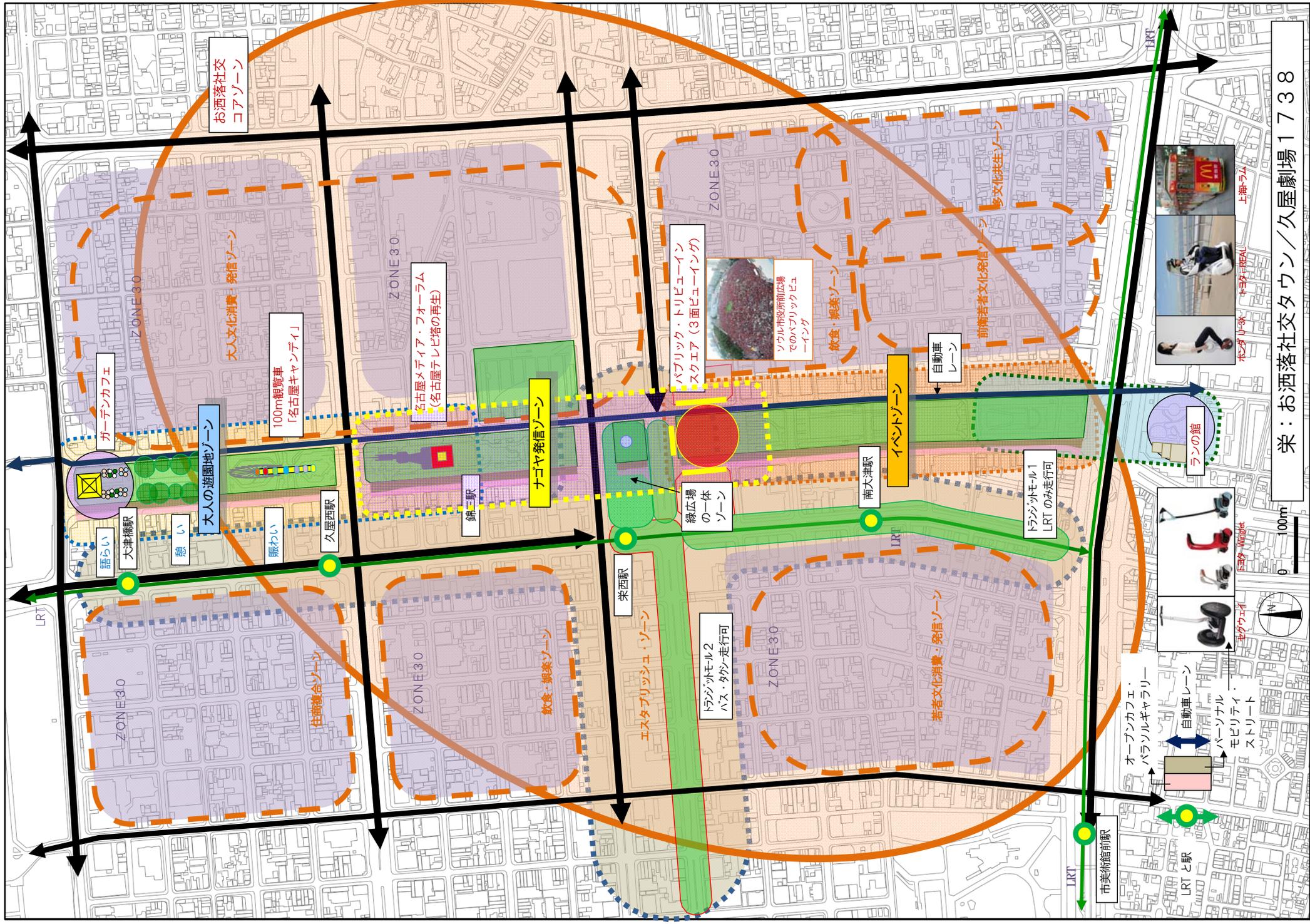
名古屋メディアフォーラムとして再生したテレビ塔に登ってみると、都心が緑に囲まれていることが、よくわかる。特に久屋大通は、緑の南北軸を形成する緑陰回廊だ。蒸し暑いといわれた名古屋だが、ここではさほど感じない。緑と水によって、暑さが軽減されているのだろう。

住むとすれば都心が良く、久屋大通に面する中層階あたりが理想だ。家賃も上昇してきているが、アトリエの広さは確保したい。長者町と呼ばれる錦二丁目地区も歩行主体のコミュニティが形成されていて、SOHOとして人気が高いらしい。

それにしてもすごい人出だ。今日は17時半から、ワールドカップの準々決勝で、韓国vs日本の試合だ。新たな名物、パブリックトリビューイングに映されるから、続々と人が集まってきている。日本が勝ったら、栄は夜中、お祭り騒ぎになるのだろう。

若宮大通まで来て、パーソナルモビリティを返却する。どこでも気軽に借返できるステーションがあって便利だ。このあたりは、百貨店が集積しているといわれ、楽しそうな買い物客で賑わっている。1本入った裏道には、面白い小店が集積し始めたらしく、そのあたりをひやかしてみよう。





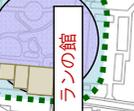
案：お洒落社交タウン/久屋劇場 1738



上海・ラム

トヨタ・REAL

ホンダ・リンク

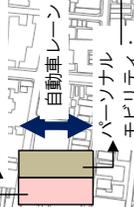


ランの館



トヨタ・Avigolet

モククワイ



モビリティ・ストリート

自転車レーン

LRTと駅

オープンカフェ・パサージュガヤラリー



PM18:00

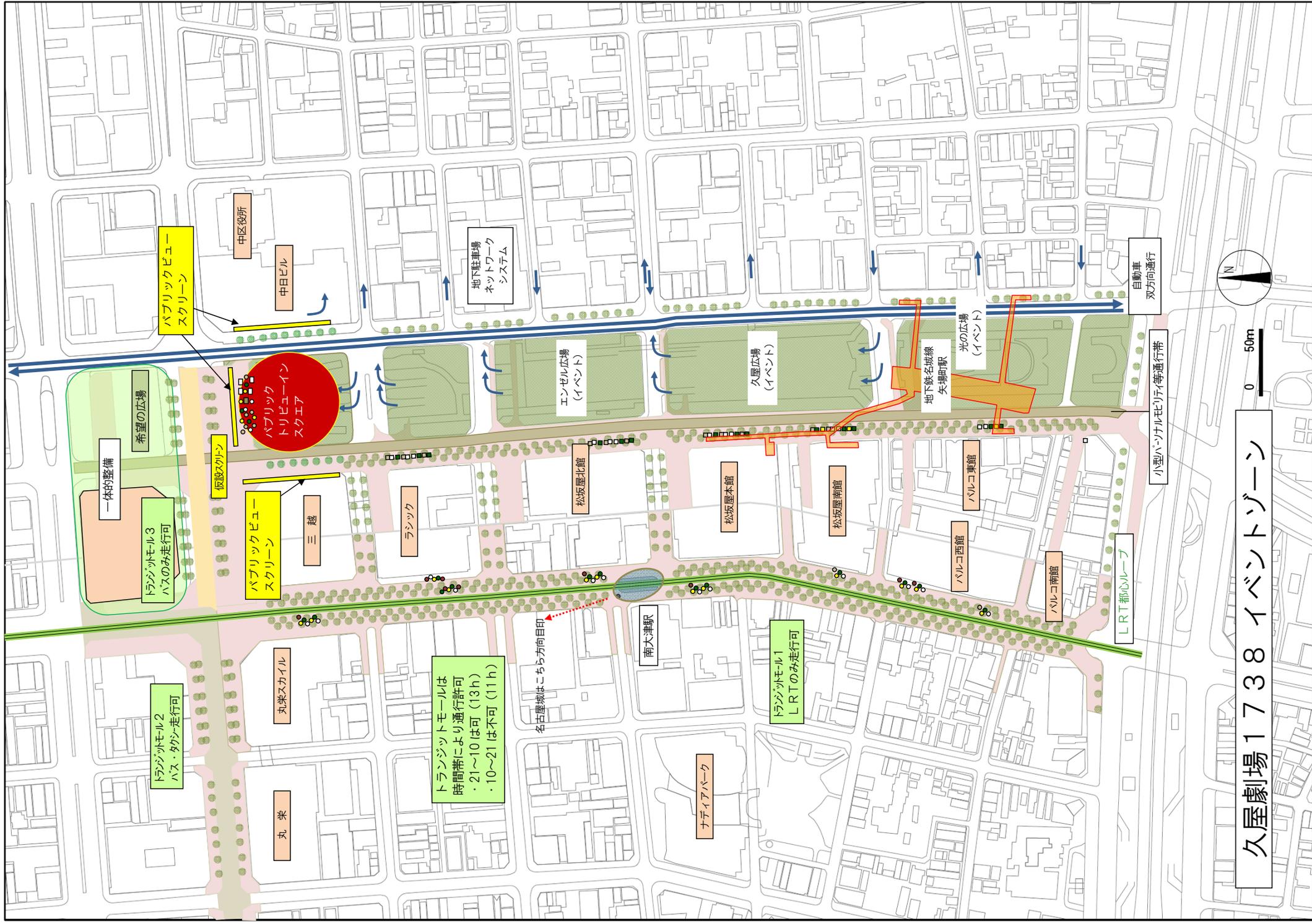
慌てて、市美術館駅前でLRTに乗る。ちょい乗りバスの回遊ルートにも乗ってみたかったが、迷っている時間はない。徐々に夜の顔に変わりつつある風景を眺めていると、こんもりした杜が見えてきた。端末でAR情報のタグを取得すると、若宮八幡社という1000年以上の歴史ある神社だと表示される。しばらくすると、ビルの谷間に寺らしき瓦屋根の曲線がみえる。勝鬘寺とあって、400年前の建造物が大切に残されているという。こんな都心に由緒ある寺社があるのも、名古屋の懐の深さかと思う。

大津橋駅で降りて北側のガーデンカフェで、友人TZと合流。このカフェでは、姉妹都市のビールが選べる。僕はシドニーの地ビールを選んだ。あちこち動いた割には余り疲れていないが、夕暮れ時のビールはうまい。今日は、色んなちょい乗りツールを使ったなあ。

明日の会議は14時にささしまライブのコンベンションセンターだ。午前中は、最近話題の金城ふ頭まで足を伸ばして、中川運河を船で戻ってこよう。運河沿いの倉庫を活用したチャンネルアートは、世界に発信するアートスポットだ。今回のクリエイティブシティ会議に合わせて様々なイベントが開催されている。会議の合間にふらりと見に行こう。

TZが、老舗ライブハウスの20時からのステージを予約しているという。その後は、大須で独自レーベルをかかげるデザイン事務所が経営するカフェに行ってみようという。デザイナーのたまり場になっているらしく、僕を紹介したいみたいだ。久しぶりに会うが、相変わらずホスピタリティにあふれた、頼もしいヤツだ。他にも、医工連携の進む鶴舞や、覚王山、最近熱田も面白いんだよ、なんて、連れて行きたいところばかりのようだ。こういうエリア毎に個性のある動きがあちこちでぐいぐい動いているところが名古屋の魅力なんだろうな。今日、1日の情景が、次々に思い出される。明日も楽しみだ。





# 久屋劇場1738 イベントゾーン

0 50m



パブリックビュー  
スクリーン

中区役所

中日ビル

地下駐車場  
ネットワーク  
システム

自動車  
双方向通行

希望の広場

パブリック  
トリビューン  
スクエア

エンゼル広場  
(イベント)

久屋広場  
(イベント)

地下鉄名城線  
矢場町駅

光の広場  
(イベント)

小型ハンズオン等通行帯

一体的整備

トランジットモール3  
バスのみ走行可

仮設スクリーン

パブリックビュー  
スクリーン

三越

ラシック

松坂屋北館

松坂屋本館

松坂屋南館

パルコ東館

パルコ西館

パルコ南館

LRT 郵心ループ

トランジットモール2  
バス・タクシー走行可

丸栄スカイル

丸栄

トランジットモールは  
時間帯により通行許可  
・21~10は可 (13h)  
・10~21は不可 (11h)

名古屋城はこちから方向目印

南大津駅

ナディアパーク

トランジットモール1  
LRTのみ走行可

小型ハンズオン等通行帯

# 都心ビジョン

## □背景と主要課題

### リニアインパクト

圏域の中核機能の集積促進  
名古屋の特色を際立たせ存在感を高める  
名古屋駅の活力を都心全体に波及

### 創造都市づくりの動き

クリエイティブクラスの活動促進  
創造性を触発する機会の提供  
歴史空間、美的環境、知的環境の整備

### 栄の求心力低下

栄への来街者の増大  
栄界隈の潜在力を活かし回遊性を強化  
賑わい空間の創出

### 地域まちづくりの高まり

地元発意のまちづくり活動を支援  
継続する自立型まちづくりの仕組み構築

目標

都心来訪機会を増やし、都心滞在時間を延ばす！

来訪・滞在目的  
ビジネス  
観光  
居住

### 来訪機会

商談 会議  
視察

飲食 娯楽  
社交 BBK

RURUBU 知る  
BBK 治療

自宅

業務 BBK 買物 飲食 社交 娯楽 治療

### 都心滞在

宿泊

宿泊

ナイトライフ

他地域での活動

RURUBU: 見る・食べる・遊ぶ  
BBK: プラプラ歩き

### 空間要求

- ① 美しい快適な屋外空間
- ② 都心にある水辺・緑空間、歴史環境
- ③ ストリート・コミュニケーション
- ④ 良質な住環境
- ⑤ 安全安心（防災性の高さ）
- ⑥ 歩きやすい連続した歩行者空間

### サービス要求

- ① 目的地へのアクセシビリティ
- ② 判りやすく手軽な移動方式
- ③ 都心情報、地域情報
- ④ 健康増進、精神の涵養

### 事柄要求

- ① 非日常性
- ② 最新・最先端・オンリーワン情報
- ③ 新たな活動機会
- ④ 社交

## □都心に求められる方向性

### 1 都心ステイタスの強化

- ・グローバルシティの形成（名駅地区）
- ・おしゃれ社交タウンの形成（栄地区）
- ・名古屋シンボルゾーンの形成（名城地区）
- ・5つの拠点

### 2 エリアマネジメントの活躍

### 3 多核回遊



## 都心ビジョンを進める8つの方針

- |                |                |                 |
|----------------|----------------|-----------------|
| 01 都心回遊性を高める   | 04 良好な都市風景の形成  | 07 都心の防災        |
| 02 良好なコミュニティ形成 | 05 創造的コアの支援    | 08 エリアマネジメントの推進 |
| 03 街の社交空間の生成   | 06 グリーングリッドの形成 |                 |

# 都心に求められる方向性

方向性  
1

## 都心ステイタスの強化 3つの核と5つの拠点

Key

中枢機能の強化

広域拠点の魅力増進

公共交通による回遊性

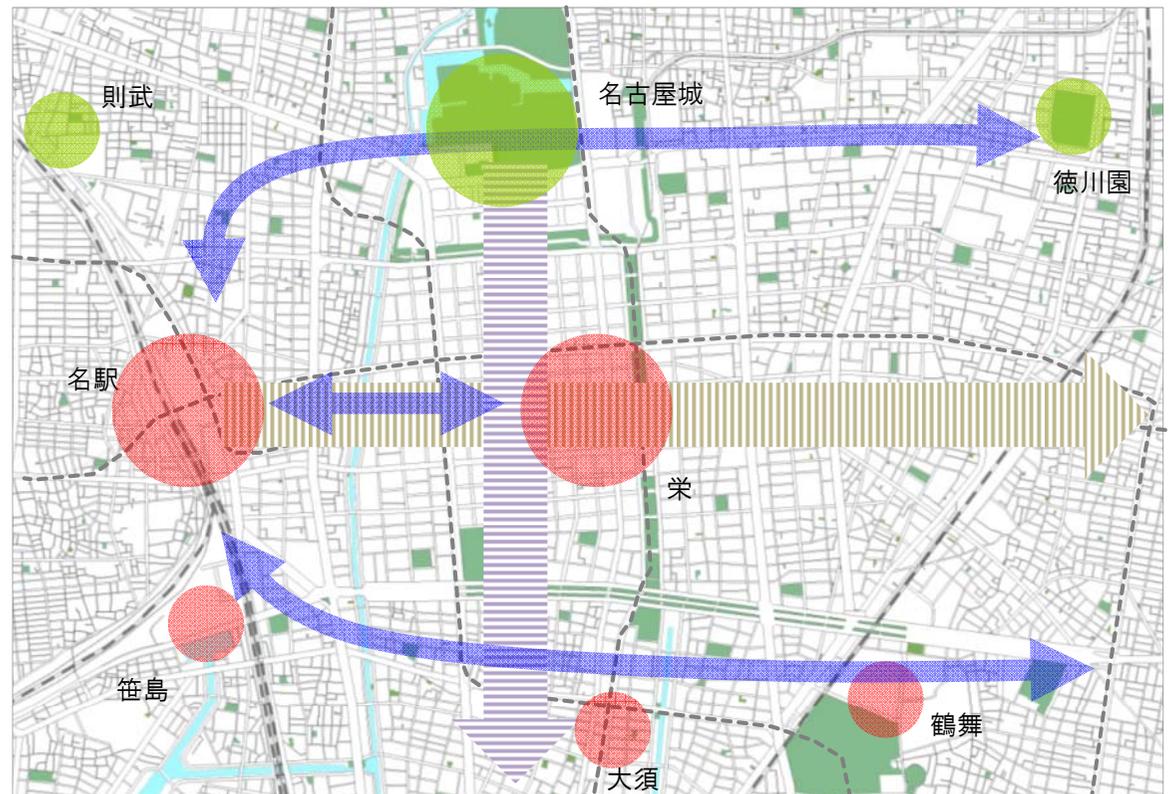
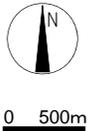
美しい都市空間・創造性の触発

- 1 リニア新幹線開通を控え、より広域的な視点から、都心の中核機能を強めるまちづくりを展開する。
- 2 広域拠点のもつ、他地域にはない特色や潜在力を一層発揮させ、名古屋都心のステイタスを強化する。
- 3 名古屋駅のポテンシャルの高まりを都心全体に波及させるため、公共交通による広域拠点へのアクセシビリティを向上させ、都心の回遊性を高める。
- 4 美しい都市景観の形成、歩行者空間の整備をすすめる、創造性を触発する機能立地をうながす。

近代都市軸  
近世都市軸

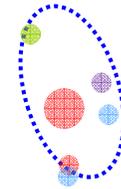
アクセシビリティを向上させる公共交通

賑わいまちづくり  
歴史・文化・学術・緑のまちづくり



3つの核と5つの拠点の目指すべき方向性と魅力増進の方法についてまとめた

| 広域拠点                      |   | 方向性          | 魅力増進   |
|---------------------------|---|--------------|--|
| 名駅地区                      |    | スーパーターミナルシティ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・土地の高度利用、街区統合</li> <li>・広域活動拠点の立地促進</li> <li>・公共交通結節点機能の拡充</li> <li>・地上・地下立体的歩行者空間整備</li> </ul>             |
| 名城地区                      |    | 名古屋シンボルゾーン   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本丸御殿、天守閣等の復元</li> <li>・門前及び官庁街の賑わい空間の創出と歩行者空間整備</li> <li>・公共交通アクセスの強化(名駅アクセス、栄アクセス)</li> </ul>             |
| 栄地区                       |    | お洒落社交タウン     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車交通抑制と歩行者空間の拡大</li> <li>・オープンカフェの常設化</li> <li>・緑陰回廊の形成</li> <li>・公共交通アクセスの増強(名駅アクセス、東部地区アクセス)</li> </ul> |
| 則武地区<br>産業技術記念館<br>ノリタケの森 |   | ものづくり日本文化拠点  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・陶磁器尾張の拠点性発揮</li> <li>・緑の塊の形成</li> <li>・公共交通アクセスの増強(名駅アクセス)</li> </ul>                                      |
| 徳川園<br>徳川美術館              |  | 尾張徳川の文化拠点    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・植栽と公園の演出、花の名所づくり</li> <li>・公共交通アクセスの充実(名駅アクセス、大曽根アクセス)</li> </ul>  |
| 鶴舞地区                      |  | 健康知的拠点       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学の医工連携強化</li> <li>・植栽と公園の演出、花の名所づくり</li> <li>・鉄道高架下利用の促進</li> </ul>                                       |
| 大須地区                      |  | 庶民賑わい拠点      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模建物更新の持続</li> <li>・イベント支援</li> <li>・公共交通アクセスの充実(名駅アクセス、栄アクセス)</li> </ul>                                 |
| 笹島地区                      |  | トランスエリア      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・アート、水上利用など新しい動きの創出</li> <li>・中川運河アクセスの改善</li> <li>・公共交通アクセスの増強(名駅アクセス)</li> </ul>                          |



## 名駅地区：グローバルシティ

日本の最先端を走り  
世界と交流するビジネスの街

スーパーターミナルのすぐ近くには、奥行きを醸す  
日本の誇るものづくり文化拠点 (トヨタ<sup>1</sup>、ノリタケ<sup>2</sup>)  
情緒ある歴史的界隈 (四間道、円頓寺)  
水辺の賑わい空間 (堀川、中川運河)

名駅は一大交通結節点

リニア新幹線、東海道新幹線  
JR東海道線、中央線、関西線  
名鉄本線、犬山線  
近鉄  
地下鉄東山線、桜通線  
あおなみ線  
LRT  
バス

誰もが訪れやすく、どこにでも行きやすい！



トランジットモールのイメージ



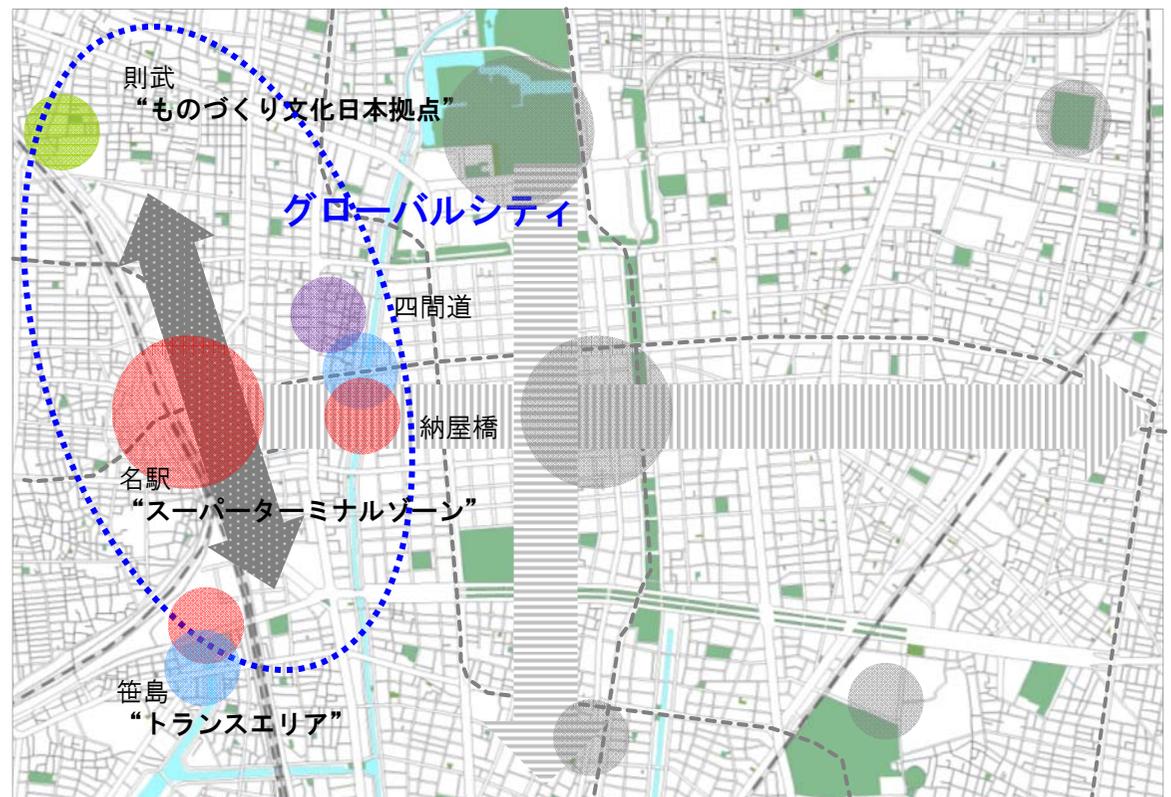
世界と交流するビジネス街イメージ

<sup>1</sup> トヨタテクミュージアム 産業技術記念館 <sup>2</sup> ノリタケの森

## Key

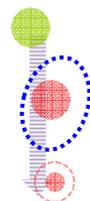
|         |              |
|---------|--------------|
| ビジネス交流  | スーパーターミナルゾーン |
| 街区統合    | 歩行者回遊性       |
| 土地の高度利用 | 良好な都市景観      |

- 1 名古屋駅を中心に、則武、那古野、納屋橋、笹島界隈を含む一帯として、東京や大阪に伍して、世界とビジネス交流するグローバルシティにする。
- 2 名古屋駅周辺は高層ビルの建ち並ぶスーパーターミナルゾーンとして、街区再編・土地の高度利用を進め、ビジネス街として業務・商業機能の集積、及び交通結節点機能を高め、同時に歩行者空間の拡大をはかる。
- 3 スーパーターミナルゾーンにおける南北の歩行者軸を強化し、トランジットモールを形成する。歩行者回遊性を高めるとともに、駅前の良好な都市景観形成を図り、良質なグローバルシティの賑わいをつくる。





トランジットモールのイメージ



## 栄地区：お洒落社交タウン

ここは名古屋一番のハレの場

自動車交通は抑制され、  
LRT、チョイ乗りバスが走り、歩行者空間が広がる

お洒落して、ヒールを高くして、  
集い、語らい、遊び、まちの付き合いを楽しむ

久屋大通は公園がグリーンと広がる都会のオアシス  
南北に1738mの屋外劇場がつながる

都会生活のひとつコマひとつコマがまちの演出劇になる



ストリートパフォーマンス



ストリートパフォーマンス

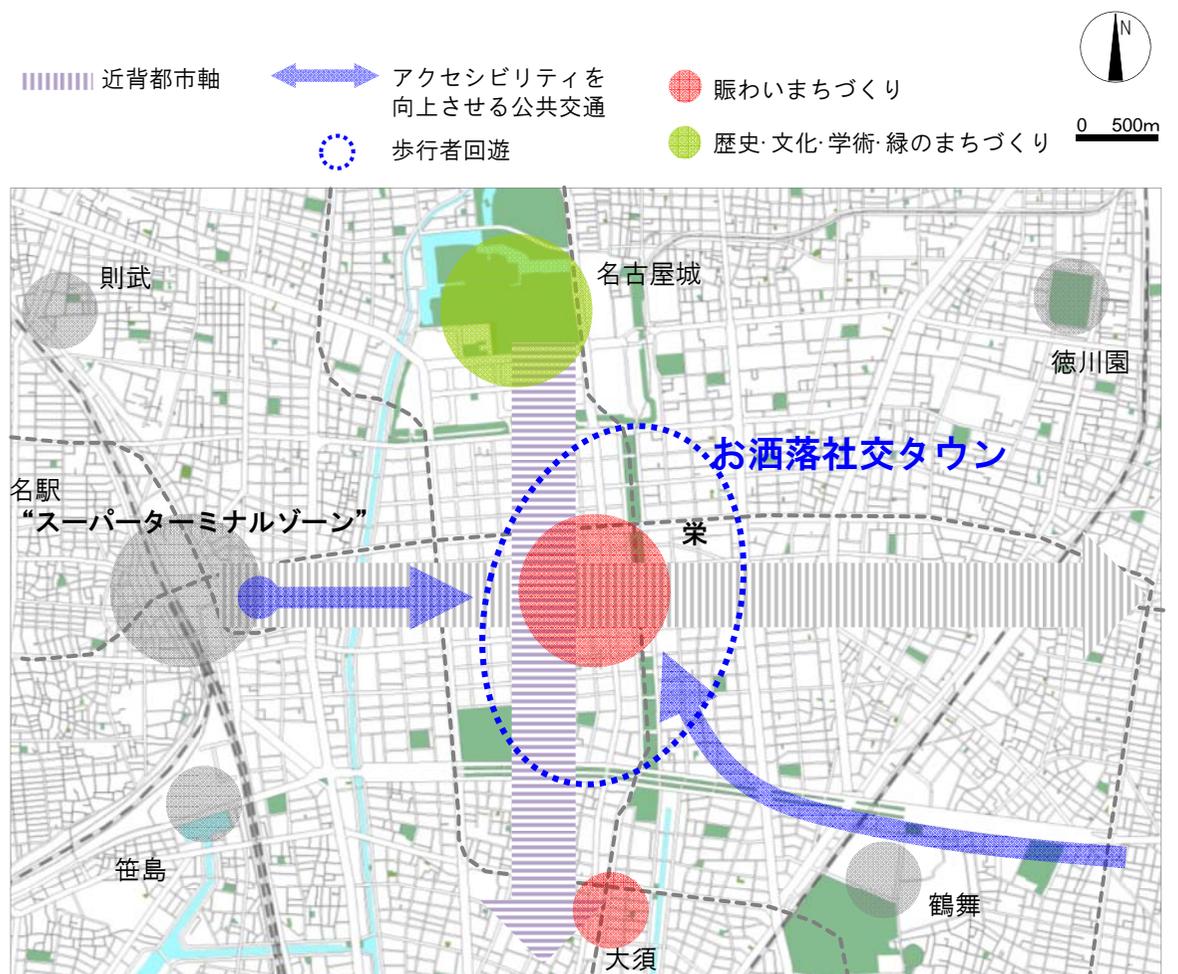


広場(ローマ)

## Key

|           |          |
|-----------|----------|
| 公共交通の増強   | 歩行者回遊性   |
| 自動車流入抑制   | 創造的文化的機能 |
| トランジットモール | 社交空間     |

- 1 名古屋駅経由および東部からの来街者を増大するため公共交通機関を増強する。栄地区への立ち寄り抵抗を軽減するため、名古屋駅～栄間、久屋大通・栄・矢場町に関する料金体系等についての改善を講じる。
- 2 自動車流入交通を抑制し、トランジットモールの導入など歩行者空間を拡大する。
- 3 名城、栄、大須は、近代都市軸にそって連坦性を高めるとともに、久屋大通公園の拡張再整備を進め、歩行者回遊の基本軸を形成する。
- 4 既存文化施設を振興するとともに創造的文化的機能を創出し、オープンカフェの常設、公共空地の連坦化など図り、公園、広場、道路などの公共空間をハレの場として演出・デザインし快適な社交空間とする。



## 名城地区：名古屋シンボルゾーン

ゆるぎない尾張徳川の象徴空間

正門前はLRTも発着する賑わいの土産店街

殺風景な官庁街は、緑陰に人のにぎわう歩行者空間に様変わり

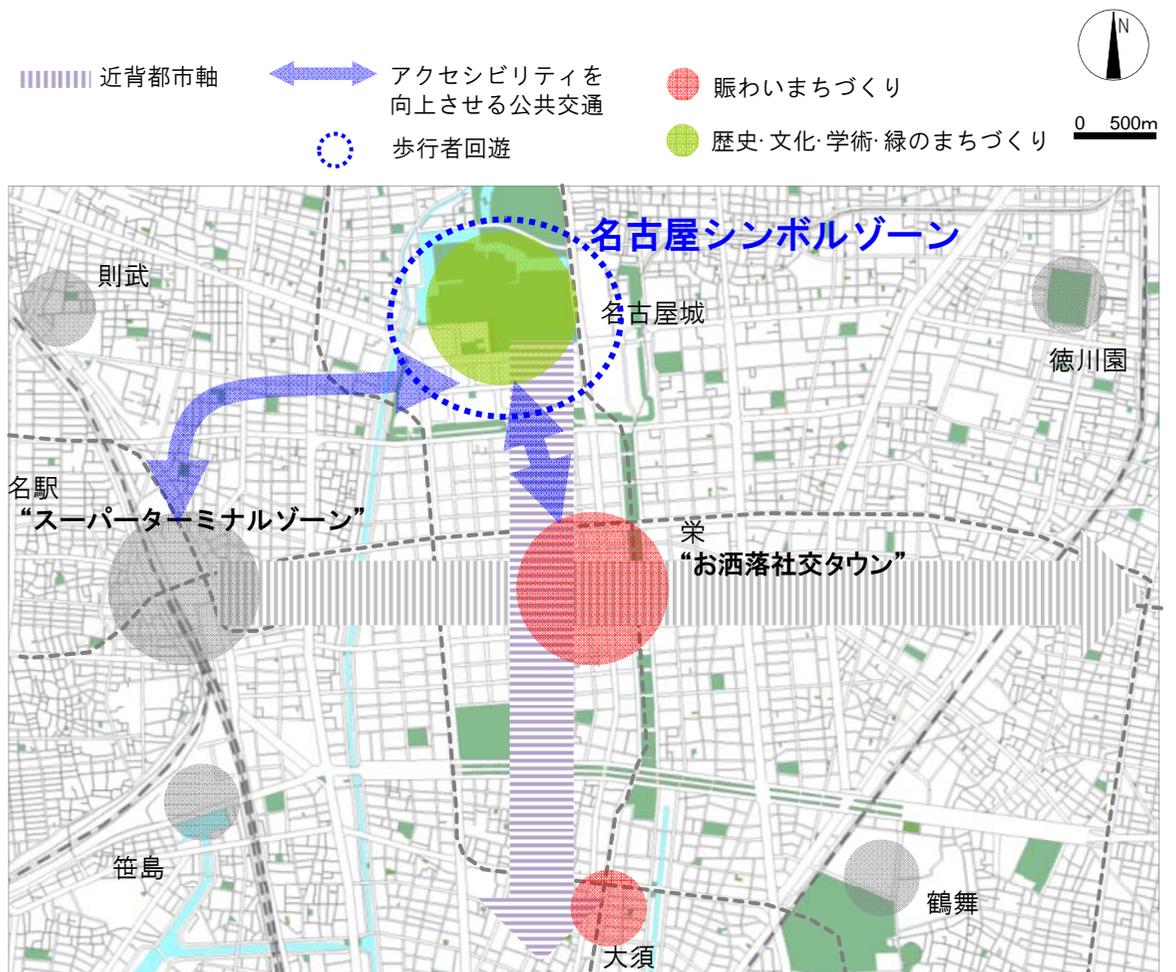
蚤の市、花の市、地産地消市、青空市場が定期的に関店



Key

名古屋城の復元  
公共交通アクセス  
賑わい空間

- 1 名古屋城本丸御殿の復元をはじめ、天守閣、馬場等名古屋城の復元を推進し、尾張を代表する象徴空間を際立たせる。
- 2 名古屋城への公共交通アクセスを判りやすい至便なものとする。とくに名古屋駅からの直接アクセスや、栄地区との連絡強化を図る公共アクセス整備は必須である。
- 3 城の門前は建物の移転更新を進め、公共交通アクセスの整備にあわせて恒常的な門前の賑わい空間とし、さらに官庁街において歩行者空間の拡大を図り、空間を活用したイベント対応の賑わい空間形成を進める。



方向性  
2

## エリアマネジメントの発揮

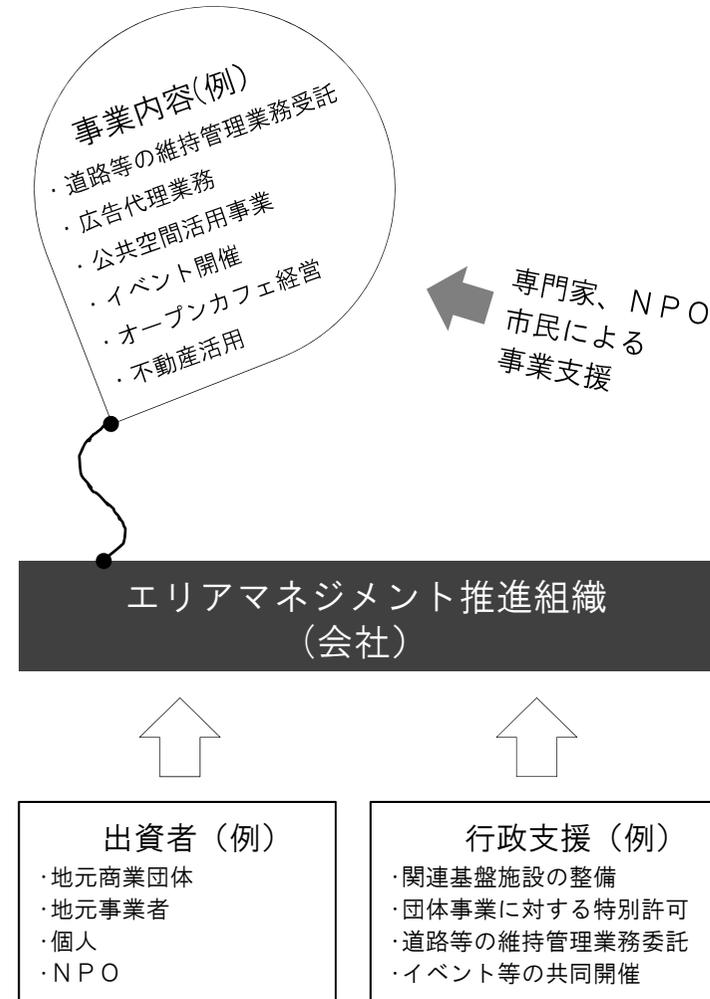
Key

地元発意のまちづくり  
エリアマネジメント  
プラットフォーム

- 1 地域資源を大切にし、肌理の細やかな地域の発意によるまちづくりを推進する。
- 2 地域のまちづくり活動が、経済的にも自立し継続できるエリアマネジメント推進組織の成立を支援する。
- 3 都心の各地で取り組まれている地域まちづくりの共通課題を議論し、経験や情報を共有し、具体化に向けて連携を強めるプラットフォームを構築する。

### 【エリアマネジメント】

地域における良好な環境や地域の価値を維持・向上させるための、住民・事業者・地権者等による主体的な取り組み。



方向性  
3

## 多核回遊

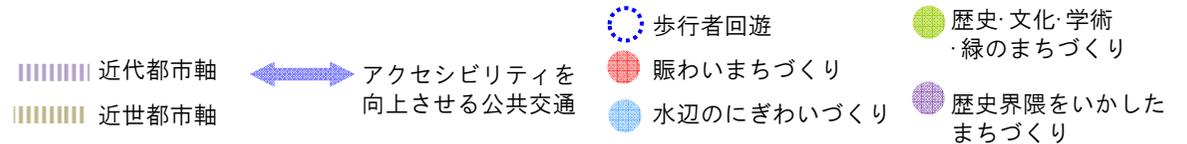
グローバルシティ + お洒落社交タウン + 名古屋シンボルゾーン + 5つの拠点

Key

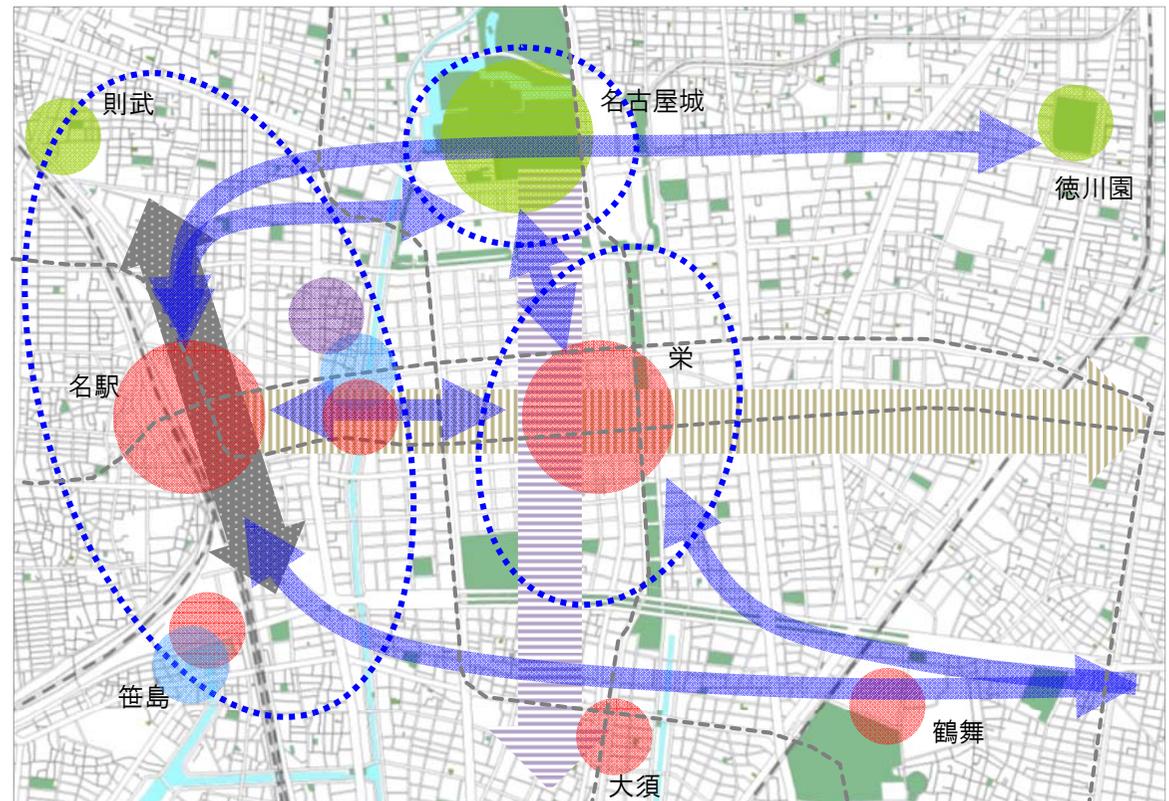
都市構造

公共交通網

回遊性の向上



- 1 2核1軸の都市構造から、多核回遊の構造に発展させる。
- 2 3つの核と5つの拠点かを連絡する公共交通網を整備する。
- 3 3つの核については、歩行者空間の拡大をはかり、回遊性を高める。



# 久屋大通は劇場空間

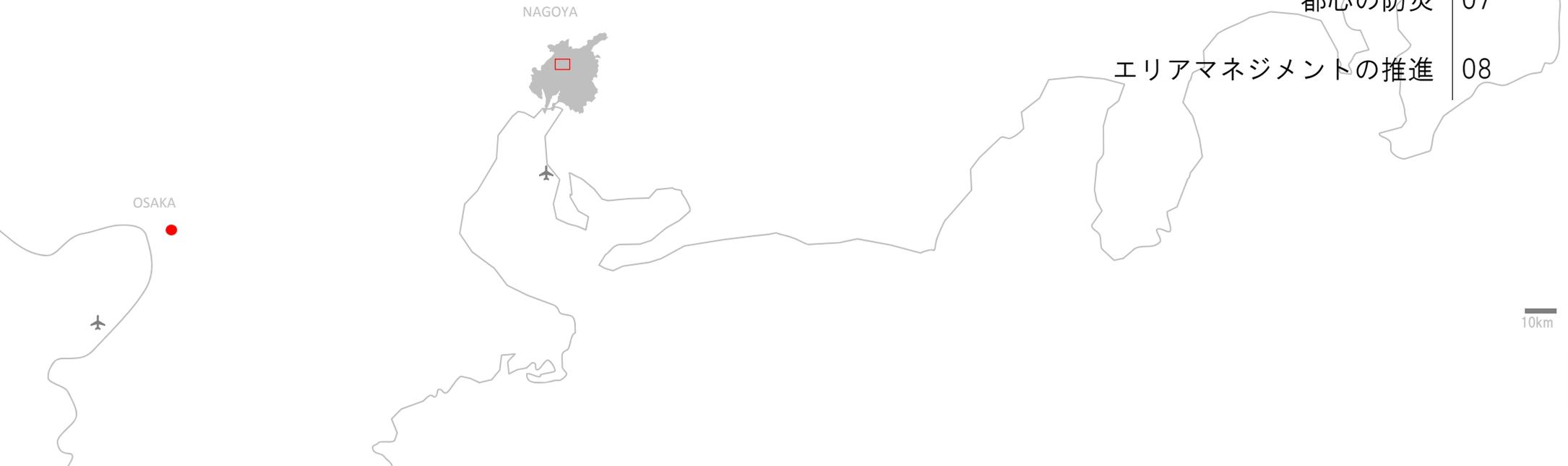
トリ  
パブリック・3ビュー



ど真ん中祭りを想定したイメージ図。合成用の写真は中日新聞社提供

# 都心ビジョンを進める8つの方針

- 都心回遊性を高める 01
- 良好なコミュニティ形成 02
- 街の社交空間の生成 03
- 良好な都市風景の形成 04
- 創造的コアの支援 05
- グリーングリッドの形成 06
- 都心の防災 07
- エリアマネジメントの推進 08





# お一人様モビリティ支援。気軽に、自由に、容易に、街めぐり

Key \_\_\_\_\_  
 特典つき共通切符  
 当日券販売窓口  
 パーソナルモビリティ



- 公共交通機関が3日間程度乗り放題で、かつ施設入場が優遇される特典付きの共通切符を発行する(例えばローマパス)。
- 都市の滞在時間を増大するため、観劇などの立ち寄り意欲を促す当日券専用チケット販売窓口を広域交通結節点に設置する。
- 自転車、車椅子や近距離パーソナルモビリティの走行空間を、幹線系道路に確保するとともに、ゾーン30、シェアードスペースの導入に対応して街区内道路をデザインする。

ローマパス (25ユーロ)

地下鉄、バスなど公共交通は3日間乗り放題(マップ、ガイド資料付)で、施設入館料は、2施設まで無料になる(これでほぼ元が取れてしまう)さらに、3つ目の施設からは半額サービスとなる。また、専用入り口から施設の入館ができ、行列知らずに入れるという特典がつく。

当日券専用チケットブース (大阪市)

**TODAY'S TICKETS CENTER**    今日のドキドキ、その日にゲット。

HOME MAP INFO

- ▶ 当日券購入方法
- ▶ 購入時の注意
- ▶ よくあるご質問
- ▶ 当サイトへのバナーリンク

**ご支援・ご協力**

- ▶ 近畿経済産業局
- ▶ 大阪観光コンベンション協会
- ▶ 大阪商工会議所

▼ 日本版チケット  
**Today's Tickets.jp**

【TTCなら、】本日の取り急ぎチケットは以上です。1日30分お片づけに便利な切符です。

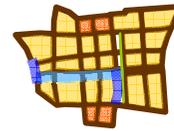
▼ **ここがポイント!**

**最新の情報を入手!**  
 前売券を買い忘れて、あきらめていたあの公演…当日券なら、TTCで買えちゃうかも!

**いろんなイベントからセレクト!**  
 たくさんの当日券情報から、行きたいイベントをセレクトして購入できます。

**各種割引チケットもあり!**  
 イベントによっては、学生割引や旅行客割引など、おトクな割引もあり(要証明書)。

<http://www.artcomplex.net/ttc/access.html>



## 歩行者空間の拡大

Key —————

PDS

トランジットモール

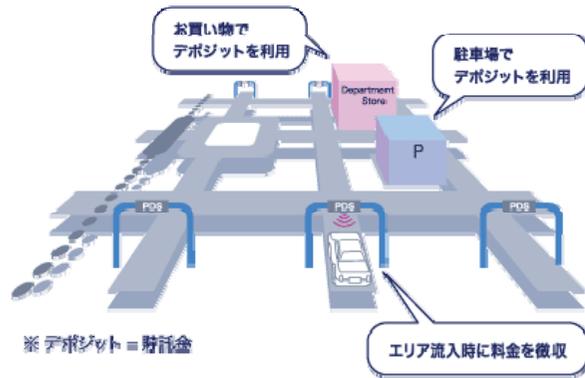
ゾーン30

シェアードスペース

- 1 都心への自動車流入抑制を図り、道路空間をできる限り歩行者空間に振り向ける。適正な駐車を誘導する駐車デポジット制度(PDS)を導入。特定の街区で試行し、逐次全街区に適用する。
- 2 新規LRTの導入路線は2つのトランジットモールを形成し、沿道空間とLRT施設等が調和した空間形成を図る。  
トランジットモール1 : 商業的な賑わいを形成する区間。  
LRTと許可車のみ通行可。  
トランジットモール2 : 高頻度運行する幹線的なチョイ乗りバス路線。  
バス&Taxi、許可車のみ通行可。
- 3 幹線系の道路で囲まれた街区は、走行速度30Km/時の交通規制(ゾーン30)を導入したり、シェアードスペースとして道路空間のデザインを改善し、歩行者環境を向上する。

【 駐車デポジット制度 (PDS) 】

都心部への自動車流入抑制のマネジメント手法の1つで、入域賦課金と駐車料金を一体的に運用する仕組み。



【トランジットモール】

中心市街地のメインストリートなどで、一般通行車両を制限し、道路を歩行者・自転車とバスや路面電車などの交通機関に開放することで街の賑わいを創出しようとするもの。

【シェアスペース】

EUで行われている実験の1つ。道路から、車も自転車も歩行者も右から来る交通に優先権があるという以上の一切のルールを排除することで、交通渋滞や交通事故を低減させるもの。

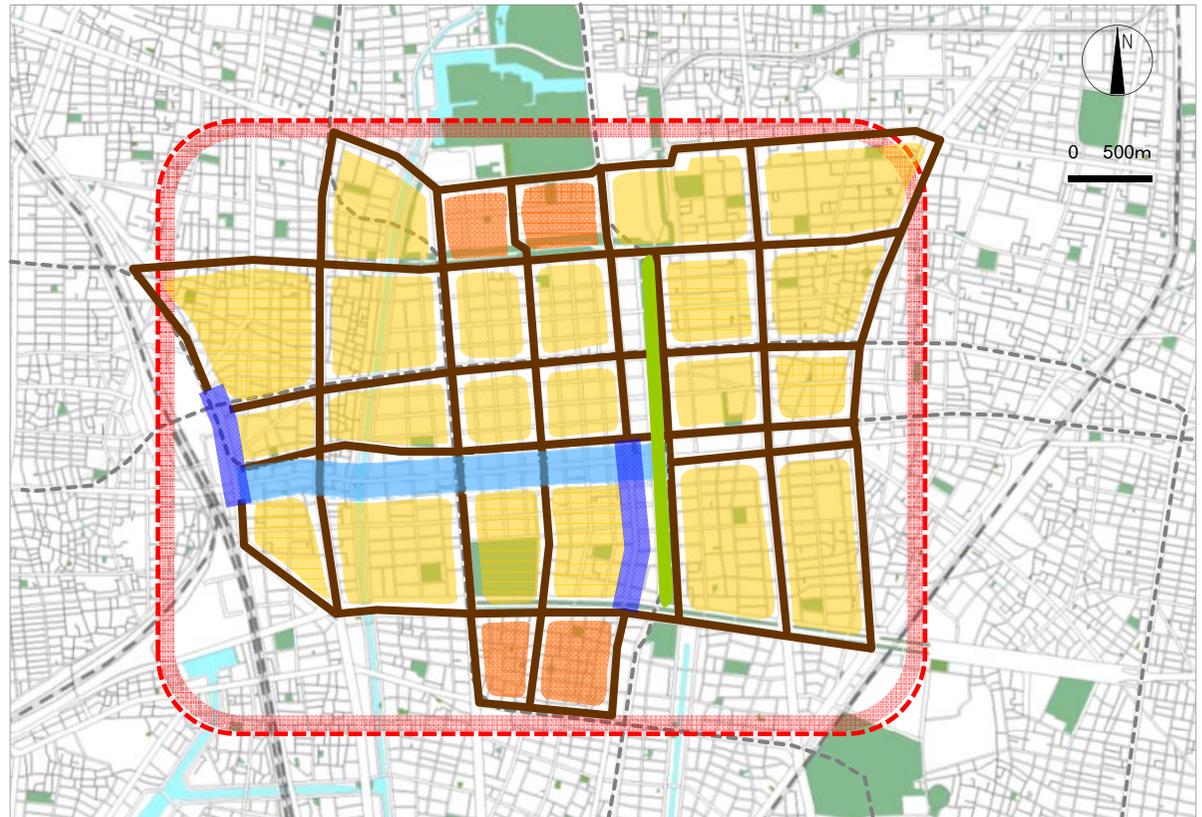


【ゾーン30】

走行速度30km/時の交通規制



- 幹線系道路
- PDS導入対象エリアイメージ
- トランジットモール1 (商業的な賑わいを形成する区間。LRTと許可車のみ通行可)
- トランジットモール2 (チョイ乗りバス路線。バス&Taxi、許可車のみ通行可)
- ゾーン30 ● 歩行者優先空間 ● 道広場 (歩道拡大)



## 02 良好なコミュニティ形成

方針

### 都心居住の促進

#### Key

複合的土地利用

歩行者優先街区

生活利便施設

低炭素街区

低・中高層高密集合住宅

- 1 密度感ある連坦した商店街の形成に向け、商業施設はできる限り絞り込んだエリアへの集積を誘導し、一方で住宅を中心に立体的で複合的な土地利用誘導を進める(右上図)。
- 2 日常生活を支える物販店、飲食店、医院、健康施設などの生活利便施設の良好なサービス、そして十分な高齢者サービスが享受できるような居住地を形成する。
- 3 低層もしくは中高層の高密な集合住宅の立地を進める。歩行者交通を優先して街区内道路は生活の庭化し、静謐な緑陰空間と良好な街並みの街区を形成する。
- 4 住宅街区の整備に当たり、地域冷暖房施設の導入、自然エネルギーの活用、カーシェアリングの導入など、低炭素街区の形成を推進する。
- 5 街並み形成、生活利便施設立地、低炭素街区形成などの地域貢献を誘発するあらゆる地域地区制度を検討し導入する。



人間的スケールの中小町並み



倉庫を改装してロフト住宅へ



1階は商業、2階以上は住宅



建物の隙間にキャラリーを



街路には賑わいを



「まち」の中に市場を



未利用地を菜園として活用



歩道はボードウォーク



車椅子で回遊できる「まち」



複合建物には豊かな中庭

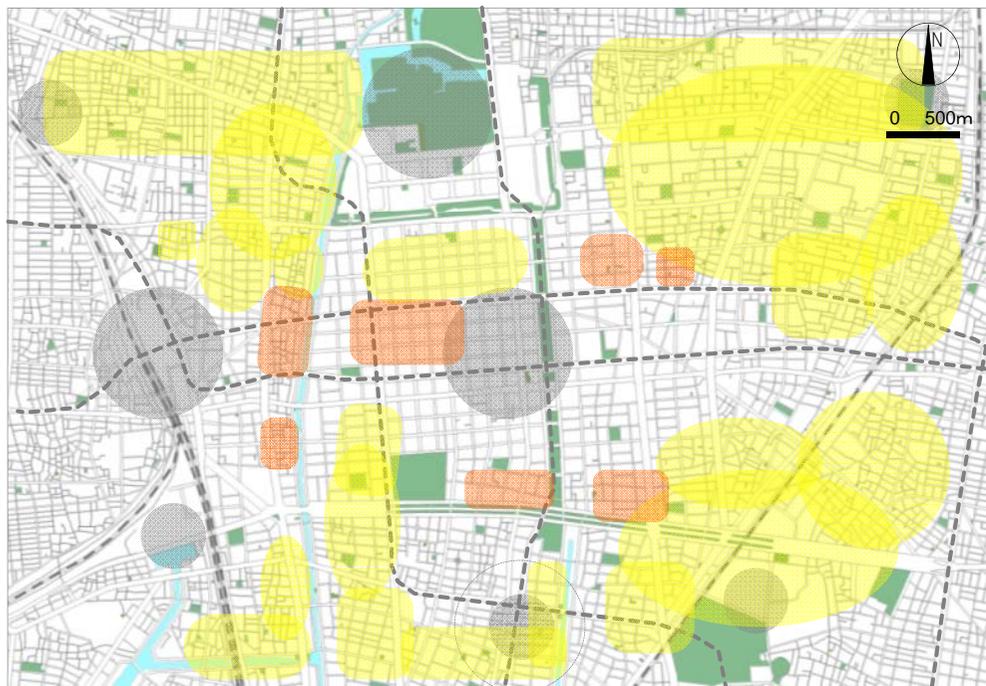


小さな子どもが遊べる公園を



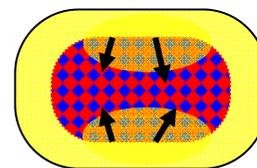
車は共有小型電気自動車

「名古屋錦二丁目地区エリアマネジメント推進方策検討業務」より

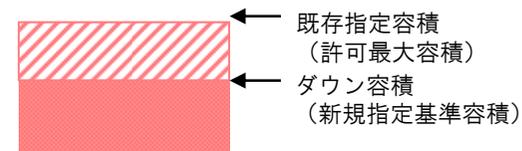


- 居住エリア1（近隣商店と住宅の複合、生活の庭）
- 居住エリア2（商店、事務所、住宅の複合、生活の庭）

都心商業地域指定を絞り込む  
立体的に住居系地域を貼り付ける  
複合的土地利用を誘導する



ダウンゾーニングする（新規指定基準容積）  
ただし地域貢献内容に応じ、容積増（既存指定容積）を保障



※掲載内容は、THE SAKAE RESIDENCE より近隣距離800m以内にあるものです。記載の数は、それぞれの場所、施設等の数を表します。（2010年7月現在）

# PLEASURE for Me.

### 近隣の生活利便施設

栄に建設されるマンションから800m圏内にある施設等を紹介するアイコン

矢作地所「THE SAKAE RESIDENCE」パンフレットより

## 03 街の社交空間の生成

方針

### 多彩な社交が繰り広げられる公共空間の双方向デザイン

Key

公共空間活用

ストリート・コミュニケーション・デザイン

エリアマネジメント

- 1 道路、公園などの公共空間を活用し、単に通行するだけの空間ではなく、佇む、会話する、集まる、飲食する、休憩する、眺める、遊ぶ等、人々の様々な営みがそこで生成される、いわば、街の社交空間にする。
- 2 沿道飲食店と一体となったオープンカフェの常設化、建物1階ショウウィンドウの連坦化、公開空地の連坦化、柔軟にイベント開催できる公共空間のデザイン、街並み景観の向上など、公共空間で繰り広げられる多彩な社交を快適なものにし活性化するストリート・コミュニケーション・デザインを進める。
- 3 公共空間を活用するにあたり、従来の制度上の枠組みを見直し、官民協働し、地元主体のまちづくり団体によるエリアマネジメントの展開を図る。



## 04 良好な都市風景の形成

方針

### 公共空間の質を高める

Key

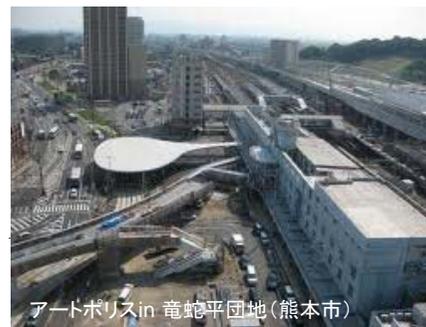
都心デザイン委員会

アーバンデザイン

LRTのトータルデザイン

各種の制度活用

- 1 都心デザイン委員会(仮称)を設置し、委員会での検討を通して質の高い公共空間の整備を進め、良好な都市風景を生成する。
- 2 再開発事業による街並み形成、トランジットモールやオープンカフェ、シェアードスペースの導入、緑陰回廊、街角広場、そして水辺空間の整備、コミュニケーションデザインなどに際しては、質の高い空間を実現するアーバンデザインを実践する。
- 3 LRTの新規の導入にあたり、車両、駅舎、走行路面、案内サイン等までトータルデザインをする。
- 4 ドイツの国際博覧会(IBA)方式、熊本のアートポリス方式、マスターアーキテクト方式、設計コンペを取り入れたり、あるいは、まちづくり協定や、景観条例などの制度を柔軟に活用する。



アートポリスin 竜蛇平団地(熊本市)



LRT&駅舎(ストラスブール)



MM21 by みなとみらいまちづくり基本協定



仙台メディアテーク by 設計コンペ



集合住宅(ハレルン)  
by 国際建築博覧会(IBA)方式



パークシティ柏の葉キャンパス by UDCK



公開空地(大阪市)のランドスケープデザイン



久屋大通 by 景観整備地区指定

## 05 創造的コアの支援

方針

創造的コアを支援し、産業の活性化を！

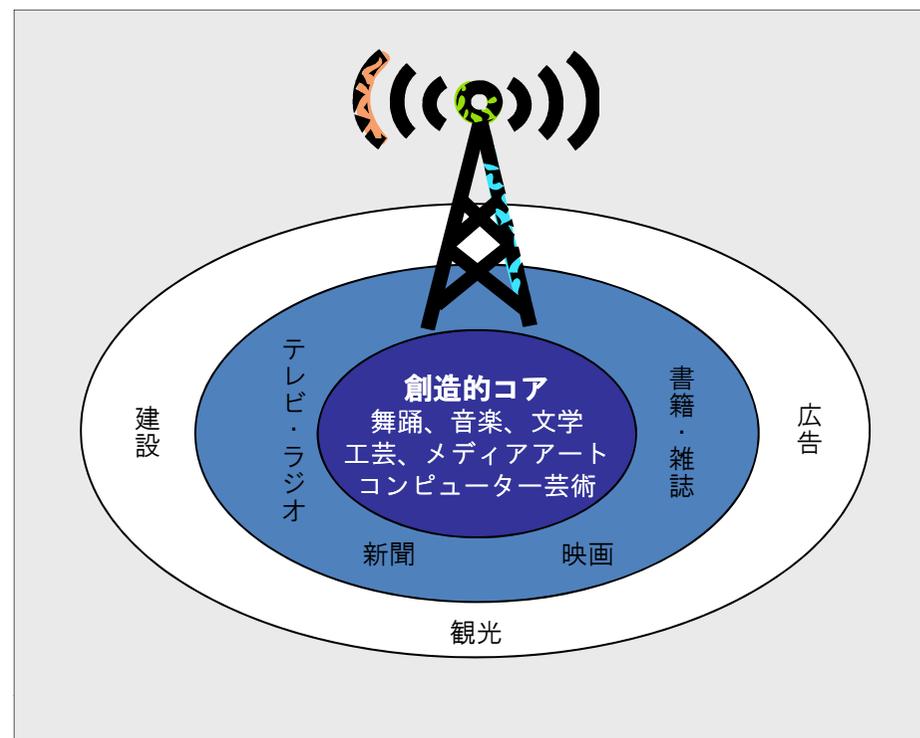
Key

知的・文化・創造機能

新たな来訪機会

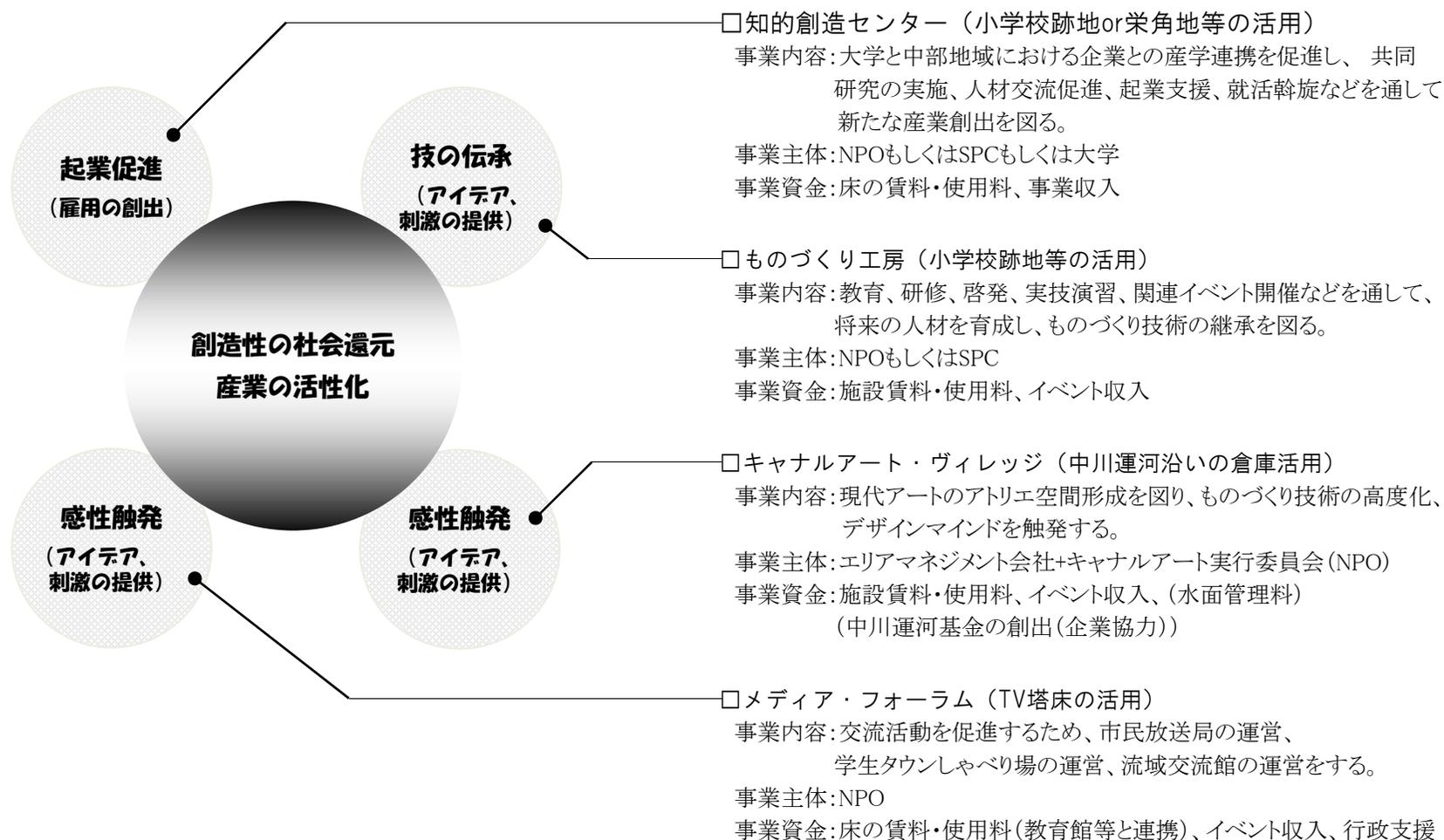
クリエイティブ・コンビナート

- 1 中部圏域における名古屋の中枢性、産業創出機能、そして、知的・文化・創造機能を強化する。
- 2 新たな来訪目的となり交流が繰り返される時間消費型の活動拠点を、栄角地や小学校跡地、民間倉庫群などを活用して整備する。
- 3 創造的コアを担う人材が活躍する新たな場・クリエイティブ・コンビナートを都心に形成する。



創造産業の同心円モデル（佐々木雅幸「創造都市」より）

## クリエイティブ・コンビナートをつくる



## 06 グリーングリッドの形成

方針

今ある「緑」を守り育て、  
できるところから「緑」を増やす

Key

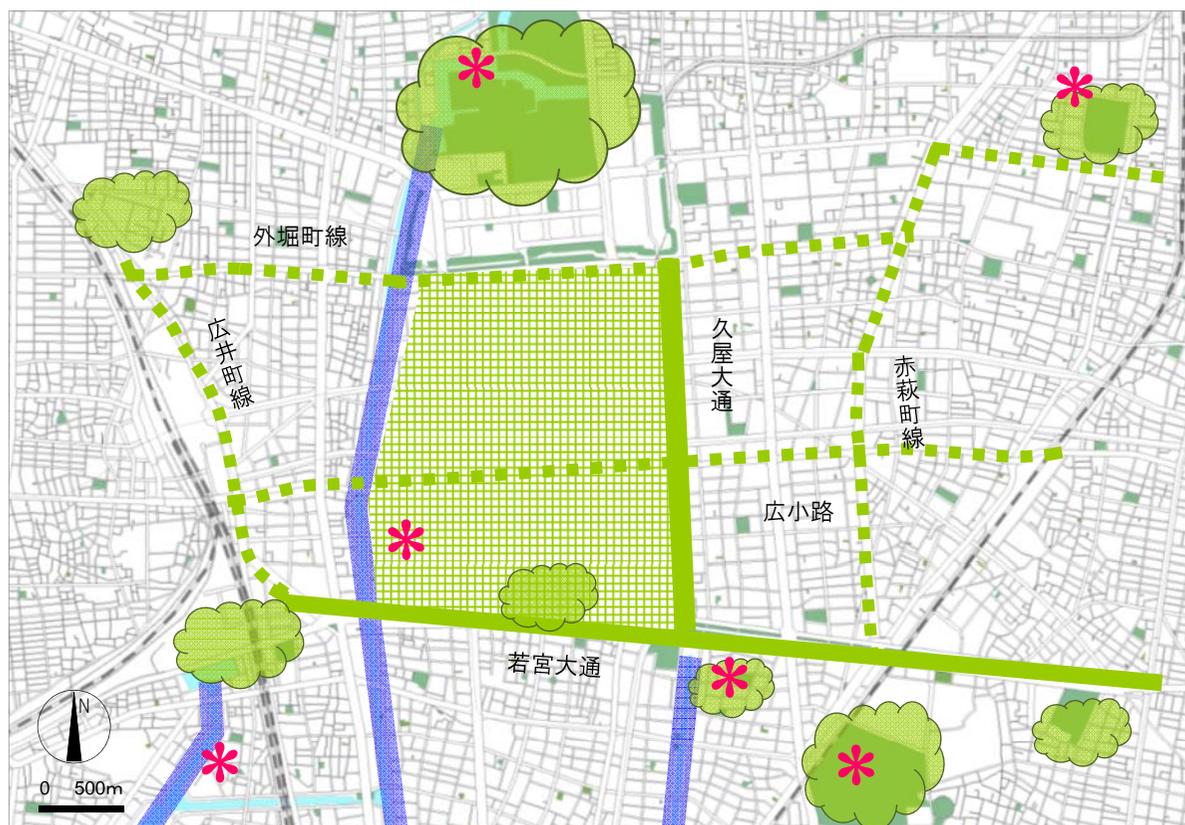
街角の緑 緑陰回廊

緑の塊 花の名所



緑陰回廊 街角の緑 水辺 緑の塊エリア 花の名所

- 1 広幅員道路における街路樹の2列植栽を積極的に推進し、広場や公開空地の植栽促進、生垣を活用した街角の緑を増大し連坦させる。
- 2 面的な広がりのある緑の塊の形成に向けて、則武地区、名古屋城地区、徳川園地区、鶴舞地区、笹島地区や公園とその周辺街区の植栽を促進する。
- 3 緑の塊を結び、緑陰回廊を形成するため、外堀町線、久屋大通、赤荻町線、広小路、若宮大通、広井町線そして堀川の緑化を積極的に推進し、骨太のネットワークを形成する。また、この回廊に呼応して公開空地連坦地区を指定し、緑の街角広場群を形成する。
- 4 名古屋城、徳川園、鶴舞公園、堀川、中川運河の名所(例えば花)づくりを推進する。



## 07 都心の防災

方針

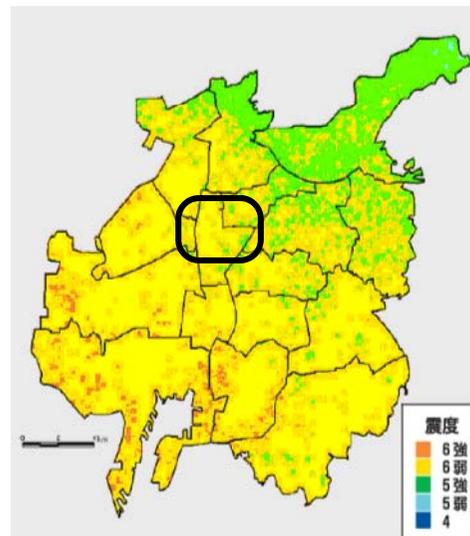
# 防災！ 減災！ 平時の人脈！

Key

|            |         |
|------------|---------|
| 地下空間の防災    | 帰宅困難者対応 |
| 浸水対策       | まちづくり人脈 |
| 分散型エネルギー供給 | 地域防災拠点  |

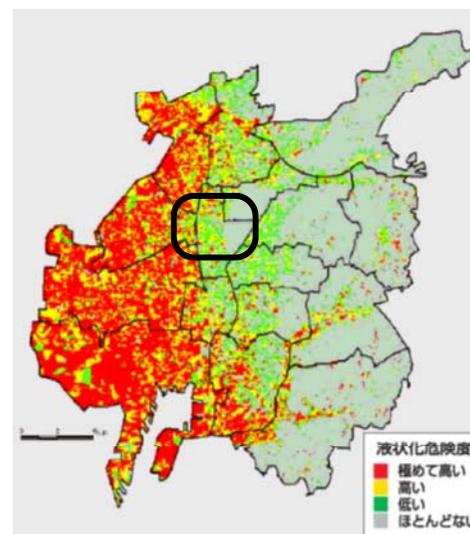
都心の想定震度は6強。  
都心西部は液状化危険度の極めて高い地区が連坦。

- 1 都市の広域結節点機能は極めて重要で、建築物の構造上の震災対策は無論のこと、地下空間における非常時浸水対策、火災対策を講じておく。
- 2 複合的かつ高度に土地利用がなされた都心で、非常時にも機能する分散型のエネルギー供給施設の設置を促進する。
- 3 発災時の帰宅困難者に対応をするため、都心において公共・民間施設を含めて十分な避難場所を確保し、あわせて情報案内体制を確立しておく。
- 4 非常時にも共助のしくみが有効に機能するよう、地元団体を主体としたまちづくり活動を持続するなど、平時における人的ネットワークを形成し維持しておく。
- 5 都心における地域防災拠点を確保しておく。



平成15年度東海地震等濃度  
分布予測調査

想定東海・東南海  
連動地震  
震度分布図



想定東海・東南海  
連動地震  
液状化危険度分布図

## 08 エリアマネジメントの推進

方針

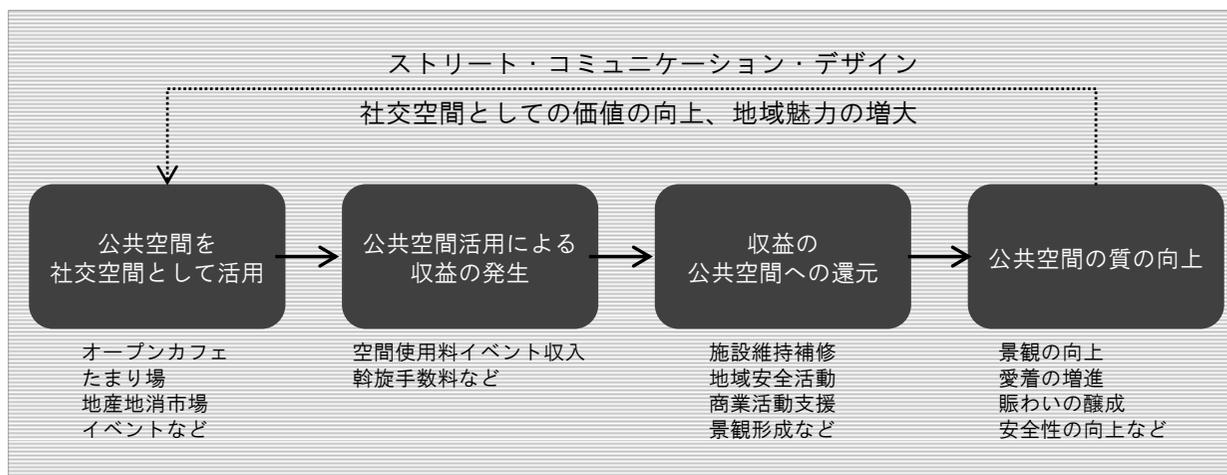
### エリアマネジメントで公共空間活用を！

Key

地元主体  
 経済的自立  
 収益の地域還元  
 都心楽会

- 1 地元のまちづくり活動団体によるエリアマネジメントを積極的に展開する。
- 2 エリアマネジメント活動が持続し、経済的に自立できるように行政的、経済的な環境整備を整える。
- 3 公共空間活用するエリアマネジメントの事業収益が、公共空間の質の向上に寄与する仕組みを構築する。
- 4 多様なまちづくり活動を支援し、都心全体の連携を促すプラットフォーム「都心楽会」を活用し、経験交流、課題共有などを図り、まちづくり活動団体の連携による相乗効果を引き出す。

公共空間活用のエリアマネジメントの構図



公共空間利用の収益

「公共空間の活用と賑わいまちづくり」学芸出版社より

| 都市                 | 歩道の商業利用<br>使用料 1997年 | 年間公共空間使用料<br>(歩道使用料) 1997年 | 備考                |
|--------------------|----------------------|----------------------------|-------------------|
| コペンハーゲン            | 5万円/㎡                | 3億円(1.4億円)                 | 使途：市職員(30～35人)の件費 |
| パリ                 | 4万円～6.5万円/㎡          | 500億円(30億円)                | パリ税収の8%に相当        |
| ニューヨーク<br>(ミッドタウン) | 4万円～7万円/㎡            | —                          | —                 |

名駅と栄の特徴

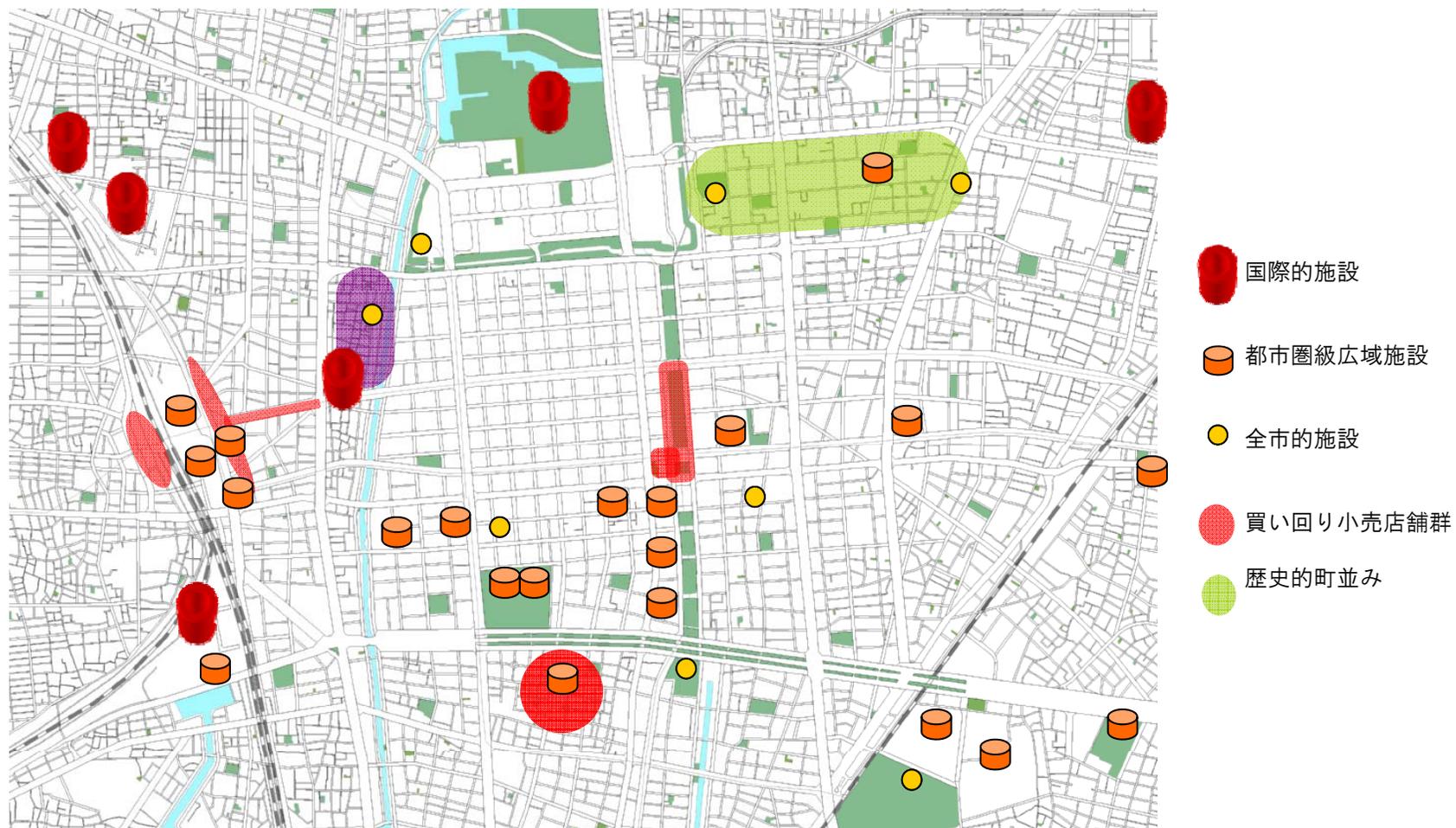
ビジョン作成の背景



# 名駅と栄の特徴

## 01 国際的な施設

国際的な施設はどちらかといえば名古屋駅方面に、また都市圏を視野に入れた商業的施設は栄に分布している。



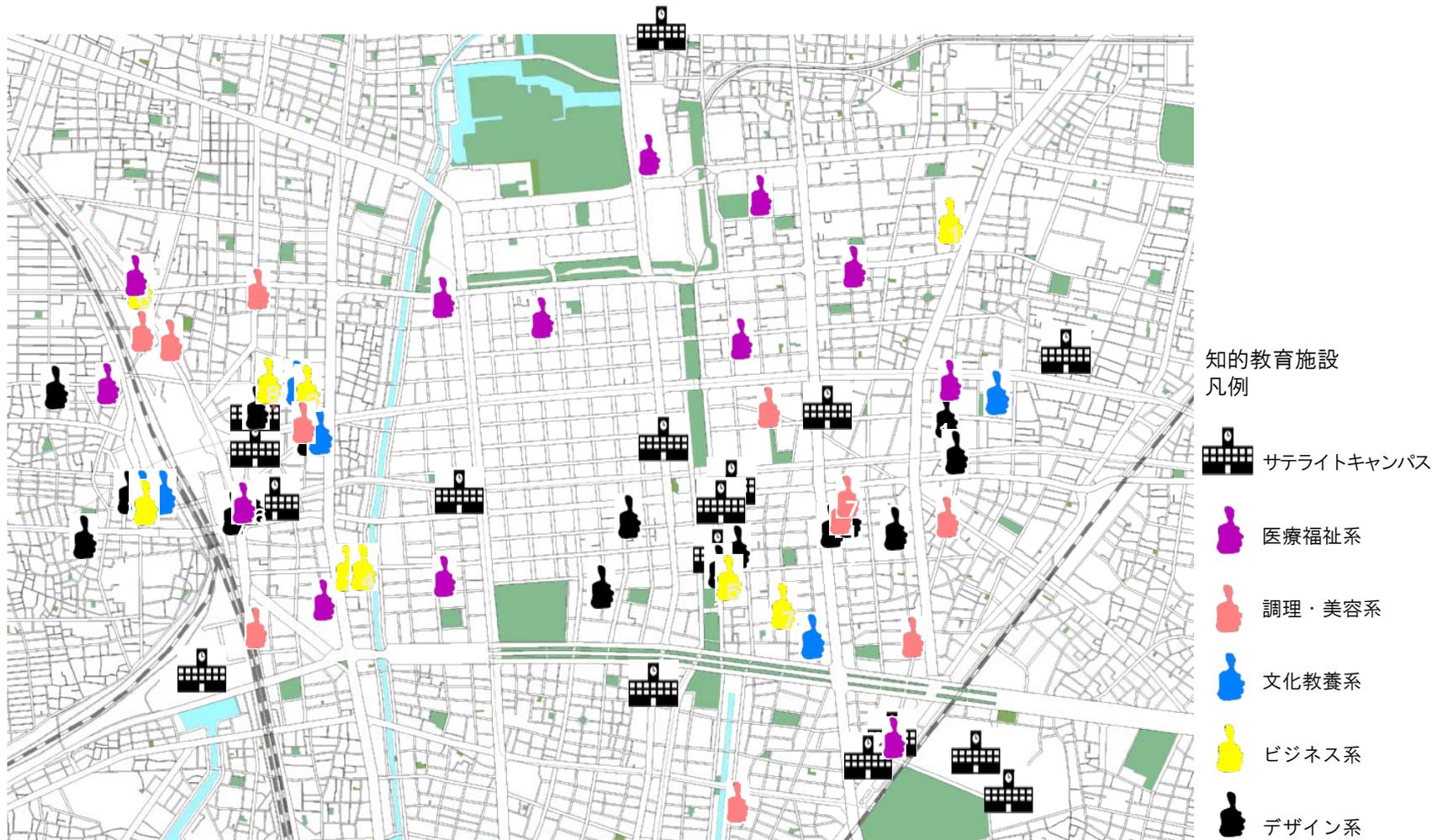
## 02 時間消費型文化施設

美術館、音楽ホール、ライブハウスなど時間消費を楽しむ施設は、名古屋駅周辺にはほとんどなく、栄周辺の方に多く分布している。



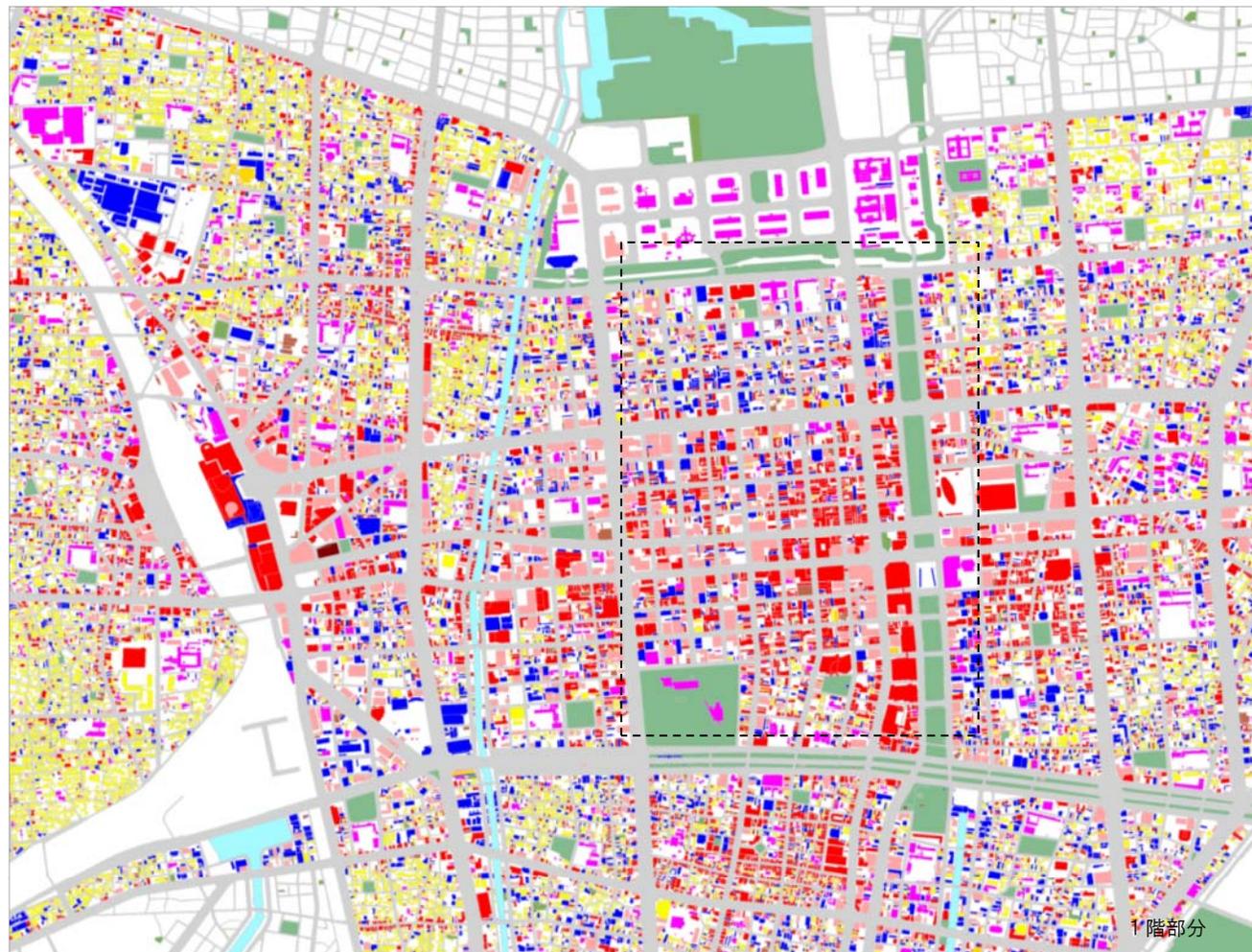
### 03 知的教育施設

サテライトキャンパスや専門学校などの知的教育施設は、名古屋駅周辺と栄周辺に多く立地しているが、名駅地区に比べ、栄地区は比較的広い範囲に分布している。



## 04 建物用途現況

商業施設系の分布を、1階部分の建物用途現況を見ると、名駅地区はある程度限定された範囲に集積しているのに対して、栄地区はより広い範囲分布している。特に、栄地区は住宅や未利用地も多く、特に久屋大通周辺は2階以上の部分に住宅系用途が多い。



建物用途の現況  
(平成18年度)



- 住宅系
- 商業・娯楽系
- 業務・宿泊系
- 文化・学校・医療・官公庁
- 工業系・駐車場など
- その他

## 05 歩行者交通量

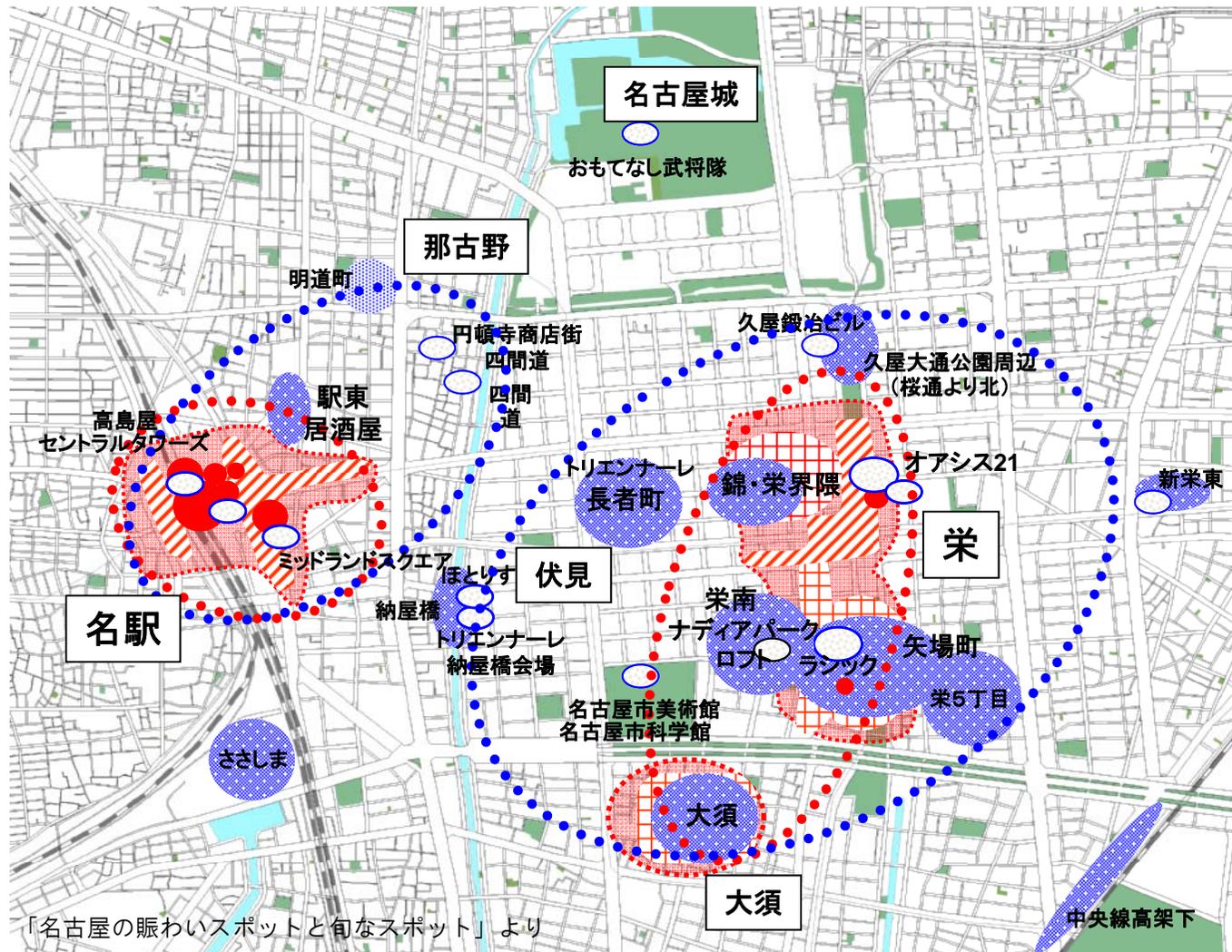
歩行者交通量の多い区間に着目すると、名駅地区の方が狭い範囲で観測されるのに対し、栄地区は広い範囲において観測され、桜通から大須まで広く分布している。



都心部の区間歩行者交通量  
(平成20年度・休日)

## 06 賑わいエリアの周囲に旬なエリア！

都心の何処がにぎわっていて、何処が旬な場所かという意識調査によれば、名古屋駅に比べ栄のほうが面的な広がりがあり、旬と思われている場所も、栄は広いエリアに分布し多彩なものがある。



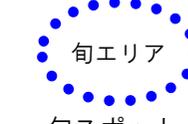
□賑わい



賑わいスポット



□旬



旬スポット



■調査の結果わかったこと

栄と名駅は違うのだ  
世界に発信できるのは名古屋城

お店発見が楽しい旬スポット  
穴場的なぶらぶら歩き  
私的発見

回遊性  
まだまだ名駅より栄

「名古屋の賑わいスポットと旬なスポット」より

# ビジョン作成の背景

背景  
1

## リニアインパクト！ 東京～名古屋間は40分ほどで連絡

2027年、名古屋～東京間にリニア新幹線が開通する。

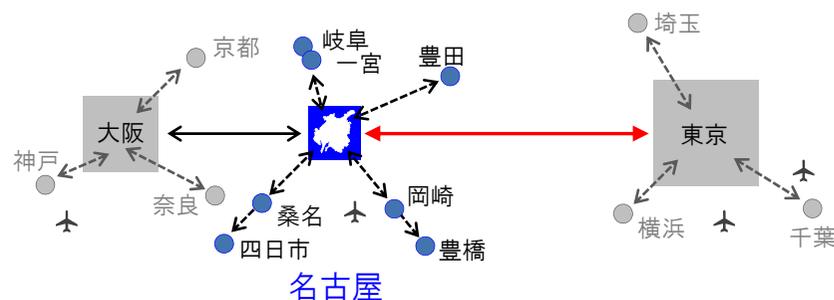
名古屋と東京はメガリージョンとして一体的な圏域を形成する。

このことは、東京から30～40分圏域にある、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市などの首都圏大都市と名古屋市が、企業立地や消費行動などにおいて、競合関係に組み込まれることも意味する。

関西圏も含め、産業、観光などの分野で、世界との多様な交流が活性化し、中部空港の役割にも変化が求められる。

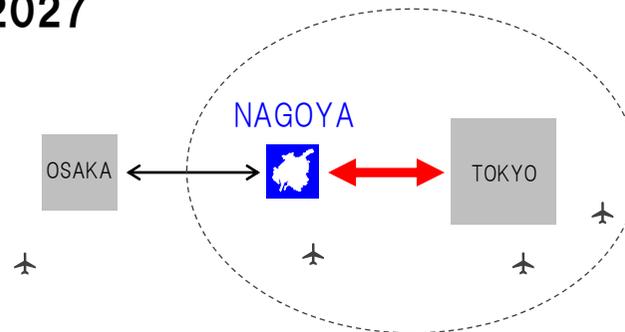
世界、特に東アジアとの関係が密接になり、世界都市としての立ち位置が重要になる。

2011



矢印の長さは移動時間の比、正方形の面積は都市圏人口(総務省統計局2005)の比を表す

2027



## 創造都市づくりの動き

大量生産を中心とした産業構造から脱却し、質を重視した新たな産業を創出する「創造都市づくり」が欧米、そして日本の先進的な都市で始まっている。

こうした創造都市は、地球規模の大交流時代を迎え、固有の魅力を発信することで新たな観光を振興し、街の活性化をめざし、世界各地からの来訪者を引き付ける世界都市として成長し始めている。



2010・8・4



ニューカッスル・ゲーツヘッド (英)



ボローニア (伊)



横浜クリエイティブセンター

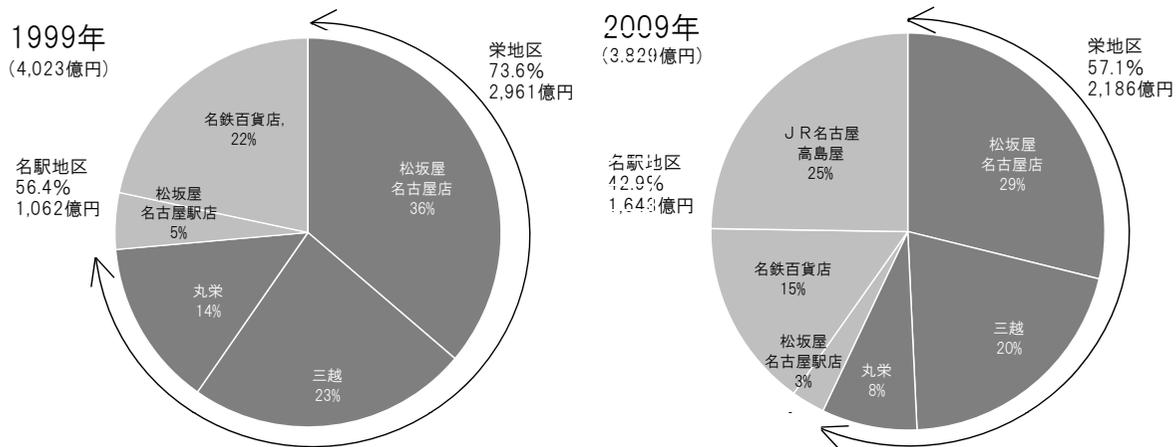


## 栄の求心力低下

栄地区は、名駅地区に比して、再開発が進み超高層ビルが出現する大規模な再開発の動きが見られない。

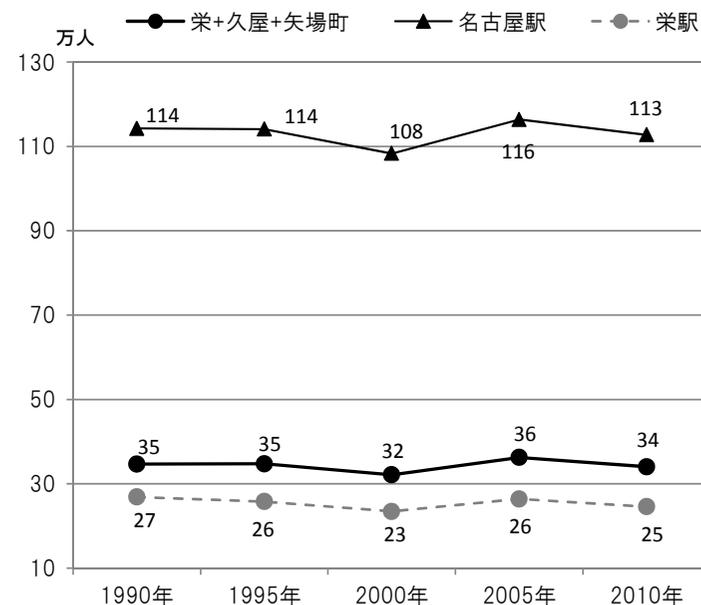
百貨店売上高の推移にも現れているように、栄の求心力が低下し始めている。

鉄道駅の乗降客数をみると、名古屋駅のポテンシャルは栄の約3倍程度で推移しているが、名古屋大都市圏内の移動数を見ると、名古屋駅と栄地区(久屋大通、栄、矢場町)は拮抗している。

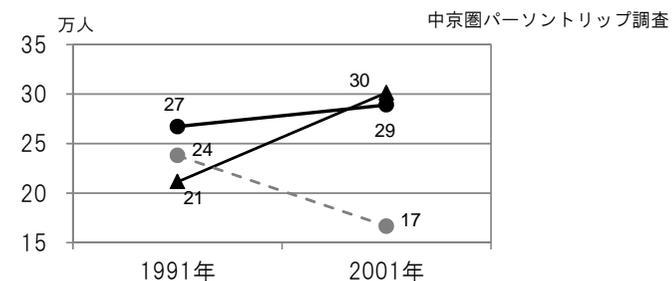


栄地区と名駅地区の百貨店売上とその割合 (1999年、2009年)

①乗降客数 (1日あたり) 統計なごや



②名古屋大都市圏の乗降客数 (1日あたり)



## 地域まちづくりの高まり

名古屋都心において、地元の発意を主体にしたまちづくりの動きが見られるようになった。

地域住民、地域で事業展開している企業、NPO、学識者、行政など様々な関係者が、地域のまちづくりにかかわっている。

地元が参加するまちづくりこそ、地域の個性がにじみ出る魅力あるまちを実現する。

住民、学生、企業、行政が協働するまちづくりの動きを、実際のまちづくり活動に取り込んでいくことが求められている。



## 都心ビジョン研究会 メンバー

### 氏名 所属

|        |   |  |
|--------|---|--|
| 森川 高行  | 名古屋大学大学院環境学研究科 教授   |  |
| 村山 顕人  | 名古屋大学大学院環境学研究科 准教授  |  |
| 団野 誠   | 中日新聞社 施設総務  |  |
| 井澤 知旦  | (株)都市研究所スペース 取締役会長  |  |
| 尾崎 好計  | 名古屋住宅供給公社 理事長   |  |
| 羽根田 英樹 | 名古屋都市センター 上席調査研究統括監   |  |
| 川口 泰男  | 名古屋都市センター 事業部長 [2010]                                       |  |
| 青木 公彦  | 名古屋都市センター 事業部長 [2011]                                       |  |
| 炭 与志昭  | 名古屋都市センター 参事（都心まちづくり） [2011]                                |  |
| 鬼頭 豊   | 名古屋都市センター調査課 課長   |  |
| 井村 美里  | 名古屋都市センター調査課 研究主査 [2010]   名古屋市緑政土木局河川計画課 主査（堀川総合整備） [2011] |  |
| 河村 幸宏  | 名古屋都市センター調査課 研究主査   |  |
| 安田 克博  | 名古屋都市センター調査課 研究員（名古屋市緑政土木局路政部道路維持課 技師） [2011]               |  |
| 後藤 佳絵  | 名古屋都市センター調査課 研究主査 [2011]                                    |  |

□ : 当該年度

- 協 力 中藺 昭彦（名古屋市住宅都市局）  
長嶋 利久（名古屋市住宅都市局）  
平尾 高之（名古屋市緑政土木局）  
横地 玉和（名古屋市住宅都市局） プロローグ、構成  
渡邊 義男（名古屋市住宅都市局）
- 参 考 金森亮・三輪富生・森川高行：活動選択を考慮した時間帯別・統合均衡モデルの構築と適用、土木計画学研究・論文集、Vol.24, pp.545-556、2007年  
森川高行：中部を創る 第2章 中部の都市交通、中日新聞社、2010年  
錦二丁目まちづくり連絡協議会「名古屋錦二丁目地区エリアマネジメント推進方策検討業務」  
共立総合研究所レポート135-3-22「止まらない名駅ビックバン」  
名古屋都市センター 一般研究（No.90,91,92,94）  
名古屋都市センター NUIレポート（No.1,3,4,5,6）
- 図版等 （株）都市研究所スペース、  
錦二丁目まちづくり連絡協議会、LET'S GO!あいち（撮影：竹本真哉）、メ〜ブツ（<http://www.me-butsum.com>）、  
Wikipedia（Fabien1309）、Madrid Tour、Excite、矢作地所、市ヶ谷新聞・青空市場、小久保亮佑、  
名古屋市住宅都市局 都市計画課、街路計画課、都市景観室、歴史まちづくり室、  
井澤知旦、団野誠、村山顕人、  
井村美里、音堅清人、後藤佳絵、清水友浩、羽根田英樹 他

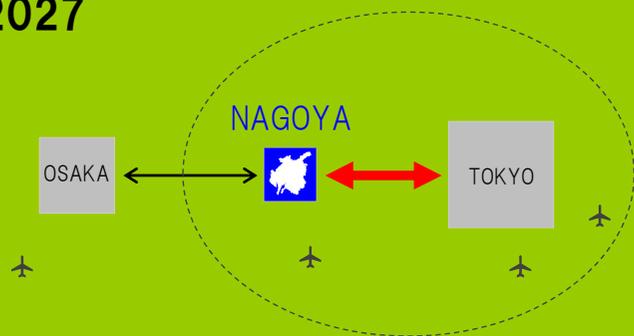
名古屋都市センター 提言

名古屋 都心ビジョン2030

2011年4月 発行

名古屋都市センター 都心ビジョン研究会

2027



2011 矢印の長さは移動時間の比、正方形の面積は都市圏人口(総務省統計局2005)の比を表す

